



静岡県立  
農林環境専門職大学  
農林環境専門職大学短期大学部

大地に学び、  
ミライを耕す。

大地を耕すように、自分の思考や価値観も耕していく。  
土の手ざわり、季節の気配、収穫の重み。  
ここでの学びは、頭だけで理解するものではない。  
体で感じ、手で確かめ、心で考える。  
その繰り返しが、プロを育てていく。  
静岡県立農林環境専門職大学は、  
未来を根っこから育てる場所だ。



2026年度(令和8年度)  
大学案内

SHIZUOKA PROFESSIONAL  
UNIVERSITY OF AGRICULTURE  
SHIZUOKA PROFESSIONAL  
UNIVERSITY JUNIOR COLLEGE  
OF AGRICULTURE

4年制  
紹介



P05▶



P09▶

2年制  
紹介



P23▶

理論と実践が交わる場所で、  
ミライの自分が見えてくる。

大地を耕すように、自分の思考や価値観も耕していく。  
土の手ざわり、季節の気配、収穫の重み。  
ここでの学びは、頭だけで理解するものではない。  
体で感じ、手で確かめ、心で考える。その繰り返しが、プロを育てていく。  
静岡県立農林環境専門職大学は、未来を根っこから育てる場所だ。

03 ピックアップ授業  
05 OB・OG紹介  
07 学長・県知事メッセージ  
08 新校舎・学生寮

09 4年制/農林環境専門職大学  
11 学部長・在学生メッセージ  
13 生産環境経営学部 カリキュラムマップ  
15 生産環境経営学部 学びの紹介

23 2年制/短期大学部  
25 学科長・在学生メッセージ  
27 短期大学部 カリキュラムマップ  
29 短期大学部 学びの紹介

37 キャンパスライフ  
38 キャンパスマップ  
41 設備・機器  
42 沿革  
43 就職・キャリア支援  
45 学納金・給付金制度・奨学金  
46 募集概要

# 未来の農林業を支えるリーダーを 育成する実践的なカリキュラム

4年制



## Pickup授業① 圃場実習〈栽培〉

**野** 菜、茶、果樹、花といった各作目の専門教員が行う実践的実習をローテーション形式で受講し、耕種作物の生産に関して幅広く学びます。また、施肥、病害虫防除のための薬剤散布やトラクターによる耕耘作業など、どの作目でも必要となる作業に関してはその目的や効果的な作業方法などに関して重点的に学習・実践します。この科目で農業の基礎的な実践力を養い、2年生後期から始まる専門性の高い農業技術を学ぶ生産マネジメント実習へとつなげていきます。

4年制 [カリキュラムは P13へ](#)

一般の大学や短大とは違い、特定の職業のプロになるために必要なのが専門職大学・専門職短期大学です。本学は日本初の農業でも「農学」「森林科学」「畜産学」の3つに焦点を絞り、農林業の

4年制



## Pickup授業② 経営戦略

**組** 織は経営環境の変化に応じて、効率的な運営で持続することを目標としています。経営戦略ではそのための学説や分析枠組みを座学で習得するとともに、ビジネススクールで行うケース・メソッドを導入しています。経営者としての実践的な意思決定能力を育成するため「自分が経営者であったら」という追体験とともに、討議を通して戦略的思考の修得を目指しています。そして実践的な職業人となるよう、企業・経営実習へと展開されます。

要な知識や知見と、実践的な技術、その両方を身につけられ、農林業の専門職大学として、農学系の幅広い学問領域の中現場で役立つ実学に力を入れています。

2年制



## Pickup授業③ 演習林実習

**林** 業の計画・経営に必要な測量調査技術、造林技術、伐木造材技術や、静岡県の特産でもある原木シイタケの栽培技術を学びます。測量調査の基礎編としてアナログ機器、応用編としてデジタル機器を使用するとともに、ドローンの操縦も体験します。伐木造材では2年次に直径約25cmの立木の伐採が安全に行えることを目標に練習します。それらの技術を学ぶだけでなく、徹底した安全意識の醸成とチームワーク力の育成を重視しています。

2年制



## Pickup授業④ GAP演習

**将** 来の農業経営に不可欠なGAP（農業生産工程管理）を学ぶ「GAP演習」では、講義で認証制度や基礎知識を学び、生産者や学内施設でのフィールドワーク、リスク評価と改善策検討のグループワークで実践力を養成。GAP指導員資格を持つ教員が担当し、卒業後に即戦力としてGAPを実践できる担い手の育成を目指します。

2年制 [カリキュラムは P27へ](#)



# OB&OG VOICES

農林業への道を歩む先輩が、仕事の魅力や想いを語ってくれました。

重要性を感じています。  
地域農業の未来を支える基盤整備の仕事に  
大学で農業を学んだことで



## 静岡県志太榛原農林事務所 農地整備課

會根 葵さん | 生産環境経営学科栽培コース  
2024年度卒業

地元である静岡県に貢献したいという思いから県内就職を志望し、大学在学中に参加したインターンシップをきっかけに、農業土木という職種を知りました。現在私は静岡県職員として農地の区画整理や農道・農業用水路の整備などの基盤整備事業に携わっています。この仕事は作業効率向上等による生産性の向上や担い手の確保に繋がり、地域農業の持続的な発展に重要な役割を果たしています。大学では農業生産や経営を講義で学びながら、実習を通じて現場の視点も養うことができました。その経験から、整備が農業経営に与える効果を具体的にイメージし、農業者の立場を理解しながら業務に取り組めることが私の強みとなっています。今後も、大学で得られた学びと経験を活かし、農業の発展に貢献していきたいです。



農業の未来を守る一翼を担いたい  
在学中の学びを現場で活かしながら、  
農業者を支える「農業保険」の仕事で、



## 静岡県農業共済組合 (NOSAI静岡)

城森 ひなたさん | 短期大学部生産科学科  
栽培コース(野菜)  
2023年度卒業

「農業者を支える仕事したい」という夢への一歩を踏み出すため、この大学に進学しました。在学中はメロンを専攻し、栽培技術や農業用ハウス、農機具の知識のほか、柔軟な対応の必要性を身を持って学びました。現在は、農業保険を扱うNOSAI静岡で働いています。農業保険は、農業を支える公的な保険で、自然災害などで受ける損失を補填します。損失を受けたメロン農家との会話では、短大で得た学びを活かして寄り添うことができました。さらに経験を重ね、農業の未来を守る一翼を担いたいと考えています。卒業後の進路としては、農業者そのものだけでなく、農業をとりまく様々な仕事があります。広い視野を持ち、焦らず自分のペースで将来設計をしてみてください。



## 株式会社 日下農園

杉本 拓磨さん | 短期大学部生産科学科 栽培コース(果樹)  
2022年度卒業

私はもともと農家ではなく、実家は部品関係の中小企業を営んでいました。しかしコロナ禍で事業が止まり、苦しむ父の姿を見たことが、農業を志すきっかけとなりました。自然に左右される仕事ではありますが、毎年変わらず仕事があり、地域とつながりながら働ける点に魅力を感じました。私は短大で果樹コースへ進み、先生方からの紹介でみかんで新規就農支援を行っていた日下農園に就職し、現在はみかんとブルーベリーの生産管理を担当しています。現場では様々な害虫や病気、やらなければいけない作業が出ますが、短大の豊富な実習と授業で学んだ害虫の種類やその対策法と栽培知識のおかげで適切に防除及び対応することができます。将来はみかんで独立をし、同じように新たに農業を始めたい人を支援できる存在になることが目標です。



異業種からみかん農家へ。  
短大で培った観察力と栽培知識が  
現場作業で活かしています。



## 有限会社 松永青果

松永 伊生さん | 生産環境経営学科栽培コース  
2024年度卒業

在学中に農業分野における外国人労働者の雇用問題に関心を持ちました。大学の授業や実習で身に着けた知識や経験を活かし、外国人の持続的な雇用をテーマとした論文をまとめ、ヤンマー学生懸賞論文で受賞することができました。卒業後は家業の農業法人に就農し、誰もが活躍できる持続可能な農業の実現を目指して、雇用環境の改善に取り組んでいます。開校して間もない大学への不安を感じる方もいるかもしれませんが、少人数制だからこそ教授や先輩から手厚いサポートが受けられます。これからの農業を担う受験生の皆さんの出発点にふさわしい環境がここにあります。あなたの一歩をこの大学から始めてみませんか。



大学で得た視点が、  
異なる文化をつなぎ農業の力に



# 日本初！ 農林業分野の専門職大学

Shizuoka Professional University of Agriculture

## 生命と暮らしを支える農林業に、経営という視点をプラス。 あなたの毎日を、農林業でもっと豊かに。

静岡県の3つ目の県立大学として、静岡県立農林環境専門職大学・短期大学部が開学した令和2年は、県の農林政策の転換点になった年として記憶されるのではないかと。そう思えるほどに、充実したスタートを切ることができました。「高度な実践力と豊かな創造力」をキーワードに、最新の栽培技術に加えて、持続的に農林業を営むために欠かせない加工・流通・販売・経営についても学ぶ。同時に農山村地域の環境や伝統文化を守るリーダーとなり得る人間力も身につけていく。こうしたこれまでに例のない本学の理念を実現すべく、高い目的意識を持って集った学生たち、その期待に応えようと熱心に指導する教職員の姿を目の当たりにすると、新しい農林業の幕開けを期待せずにはいられません。令和6年で本学は開学5年目を迎え、本学の志を理解してくれた商工農各種団体、行政機関や一般企業との様々な取り組みが始まっています。海と山に囲まれた静岡県は豊かな農業県であり、多種多様な産業が栄える稀有な県でもあります。地理的に大消費地も近く、日本経済の動脈となるインフラも整っている。農林業をビジネスとして成立させるための学びの場として、本学はあらゆる面で恵まれています。

コロナ禍を経て、世の中の価値観は大きく変わろうとしています。農林業においては、海外からの物資がストップしたことで、国内の生産や流通の問題が顕在化。改めて、農林業における経営マインドの必要性が浮き彫りになりました。また、大学教育においては、どこに入ったかではなく、どのような志を持ちどれだけ成長できたか、言わば「成長歴」の重要度が増しています。そこに気づいている皆さん、生命と暮らしを支える農林業に夢を抱く皆さんは是非、本学の門を叩いてください。本学で過ごす密度の濃い時間は、あなたを成長させるはず。そして、その成長こそが、未来の農林業を発展させる力になります。

静岡県立農林環境専門職大学 及び同大学短期大学部 学長 鈴木 滋彦 SUZUKI Shigehiko

●Profile / 1953年静岡県袋井市生まれ。名古屋大学大学院農学研究科を修了後、静岡大学農学部林産学科に奉職し、木材の有効利用、特に木質材料、森林バイオマス、セルロースナノファイバーに関する研究に従事。2000年日本木材学会賞、2010年IAWS、Fellow。2011年～2017年日本学術会議連携会員として林学分会幹事を担当。2011年農学部長、2013年副学長（国際戦略担当）として農学教育の充実、国際交流の推進に尽力。農学博士。

## 生産性の高い最先端の農林業を学び、 農林業の未来を切り拓いていかれることを期待しています。

本県は、産業振興を施策の大きな柱のひとつとして位置付けており、未来を担う人づくりのため、農林水産業や商工業等の実学を奨励しています。

静岡県立農林環境専門職大学は、「耕土耕心」、すなわち「大地を耕すことは自らの心を耕すことである」という理念の下、全国初の農林業分野の専門職大学として開学し、6年目を迎えました。これまでに大学及び短期大学部合わせて約400名が卒業し、農林業の未来を担う人材として社会に羽ばたいています。

従事者の減少や高齢化が進む中、これからの農林業の発展に向けては、先端技術を活用した生産性の向上と、新たな担い手の育成が重要な取組となります。本学では、次代を担う経営及び生産それぞれのプロフェッショナルを養成するためのカリキュラムや教育施設など、最先端の農林業を学ぶことができる環境が整っています。

皆さんが、この大学で高度な実践力と豊かな創造力を身に付け、自らの夢を実現するとともに、農林業や地域社会の発展に貢献できる人材として飛躍されることを願っています。



静岡県知事  
鈴木 康友 SUZUKI Yasutomo

## 新校舎 [C棟] (2021年春完成)



新校舎(C棟) / 外観

新校舎(C棟)は、高床式倉庫をイメージソースとし、静岡県産木材を活用した開放的な学びと憩いの空間です。図書館や学生食堂では、学生だけでなく地域社会にも開かれた新しい学びと交流が広がります。

食堂 / 寮生は朝・昼・夕の3食、それ以外の学生は昼に利用可能。大学で生産された新鮮な作物を使ったメニューも人気があります。



図書館 / 農林業関連の専門書を中心に約2万冊を所蔵

情報処理室 / 受講学生数分のパソコンとAV機器を設置。講義室でも、プロジェクター、スクリーン、マイク等を整備し、視聴覚素材を用いた講義が可能



閲覧室 / 穏やかな光と高い天井。くつろぎと集中の時間

## 充実の学修、生活環境

## 新学生寮 (2022年春完成)



学生寮外観

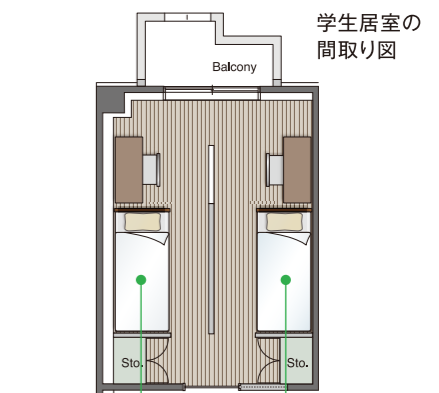
1年次  
全寮制

3つの棟で構成された開放的で新しい寮生活

社会性やコミュニケーション能力を高めるため、4年制・2年制ともに1年次は原則全寮制。仲間との共同生活を通じて人間的にも成長できます。2年次以降は空室がある場合のみ希望者を受け入れます。



寮生ラウンジ



学生居室の  
間取り図



学生居室  
(2人部屋)



大浴室

# 生産環境経営学部 生産環境経営学科

Agricultural Production & Management

4年制  
定員24人

イノベーションが進む農林業経営  
次代のリーダーたるプロフェッショナルを養成

農林業の経営の大規模化・多角化が進む今、  
先端技術、加工・流通・販売や経営管理の技術や理論を農林業の分野に  
積極的に取り入れていく必要があります。

本学部では、各分野の経営体の中核を担うとともに、  
農山村の景観や環境、伝統・文化などを守り育みながら、  
農山村の地域社会の未来を牽引する人材を養成します。



農林業経営の  
プロフェッショナルを養成

### 目標とする進路

- ⇒ 新しい視点でチャレンジする農林業経営体の後継者や幹部
- ⇒ 農林業経営体の立ち上げ
- ⇒ 技術指導・普及を行う公務員
- ⇒ JA・森林組合の職員 等

POINT  
1

### 農林業経営体のプロとして 知識・技能・対応力を吸収

- 生産に関する基礎的な知識・技術や生産物の加工・流通・販売等に関する知識に加え、企業的な経営管理や経営戦略、先端技術への対応力なども身につけます。
- 学内での豊富な実習・演習や農林業経営体等での長期の臨地実務実習(インターンシップ)などを通じて、農林業経営の実践力を養います。

POINT  
2

### 地域社会と関わる 次世代リーダーを養成

- 自らが農林業を営む農山村の自然環境や景観の保全、伝統・文化の継承などについて学び、農山村の地域社会における将来のリーダーとして、それらを守り育てていくことができる人材を養成します。
- 農山村の環境、景観、伝統・文化などの地域資源を活用し、農林業経営に新たな事業展開を生み出すことができる創造力を養います。

POINT  
3

### より専門的に選べる 2年次からのコース選択制

- 2年次から「栽培コース」、「林業コース」、「畜産コース」に分かれて、各分野の専門的な知識・技術に関する科目を履修します。(各分野に関連・共通する科目については、2年次以降も共通で履修します。)



## 理論に裏づけられた実学を身につけ、 農林業経営のプロ、地域社会のリーダーになろう！

静岡県立農林環境専門職大学  
生産環境経営学部 学部長

逢坂興宏 Osaka Okihiro

**昨** 今、「農林業は儲かる」と自信をもって話す成功者が増えています。さらに、経営と社会貢献を目的とした一般企業の参入も後を絶ちません。昔前とは違い、農林業は非常に魅力的な産業になってきたのです。この変化の背景には、先端的な栽培方法の開発や農林業経営の大規模化・多角化、スマート農業の普及が大きく関係しています。本学部では、こうした時代の変化を捉えたカリキュラムを提供し、持続的な農林業経営ができるプロフェッショナル、地域社会のリーダーとなり得る実践力のある人材を育成します。本学部の大きな特徴は、理論だけでも実学だけでもない、理論に裏づけられ

た実学を身につけるところにあります。生産技術・理論から加工・流通・販売・経営管理に関連する科目をはじめ、医福食農連携論、食文化論、農山村デザイン演習、販売管理実習、6次産業化実践論、グリーン・ツーリズム論など、幅広い分野を学びます。3年次後期からは企業実習、経営実習、経営分析演習などを通じて、現場の課題を解決するために必要なマネジメント力や総合的思考能力を身につけます。高校時代に農林業にふれていない人でも心配はいりません。大切なのは、何事にも挑戦する精神です。農林業と地域社会の明るい未来に貢献する意欲ある若者を求めています。



### PROFILE

1961年兵庫県神戸市生まれ。東京農工大学大学院連合農学研究所博士課程資源・環境学専攻修了。静岡大学農学部を経て、開学時に本学へ。斜面土層構造と樹木根系の崩壊抑止効果に関する研究に取り組んできた。教育・研究分野は、森林水文学、砂防工学、緑化学。主な担当科目は、静岡学、森林士学、農林業のための地学、情報処理応用など。砂防学会、日本地すべり学会会員。博士（農学）。



### 在学生

生産環境経営学科 栽培コース(果樹)3年

長坂一宝さん 山梨県立甲府南高等学校出身

**私** は小学生の頃から梨が好きで、「いつか自分の手で育てた梨で誰かを笑顔にしたい」という想いをずっと抱いてきました。しかし、現実の農業は甘くなく、その厳しさに驚かされることばかりです。それでも夢を諦めたくなくて、農業の可能性を信じ、この大学を選びました。実践的な学びの中で、農業の奥深さや面白さにどんどん惹かれています。林業や畜産など幅広く学ぶことも刺激的で、自分の視野が大きく広がったと感じます。多様な圃場、親身になって接してくれる先生方、同じような目標を持つ仲間たちに囲まれ、夢への道のりが少しずつ形になってきました。ここは、夢を本気で育てられる場所です。あなたも一緒に未来の農業をつくりませんか？

笑顔を届ける梨農家になるために。  
現場に近い実践的な学びから農業の  
無限の可能性を日々感じています。

花を通して、暮らしに彩りを届けたい。  
栽培技術だけでなく、経営のことや  
つながりの大切さも学べます。

### 在学生

生産環境経営学科 栽培コース(花き)3年

神谷佑香さん 磐田東高等学校出身

**中** 高での植物に関わる部活動をきっかけに農業に興味を持ち、栽培だけでなく経営も学べる大学を選びました。3年次には学生が主体となって作物を生産して販売まで行う実習があり、現場に近い学びを経験できます。実習や授業、サークル活動を通して、仲間とのつながりの大切さも学びました。私には花を通して人々の暮らしを豊かにするという夢があります。現在は夢の第一歩として、マーガレットの育種に挑戦しています。今後は暑さに強いマーガレットや、青い花色のマーガレットを育種したいと考えています。まだやりたいことが明確でなくても、大学での学びやサークル活動を通しての新しい発見から本当に学びたいことがきっと見つかります。



# 生産環境経営学部 生産環境経営学科

## アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

- 次のような資質を有する学生を求めます。
- 農林業生産技術や経営などを学ぶ上で必要な基礎学力と知識を身に付けている人
- 課題解決や新たな価値の創造に取り組むために、従来の常識にとらわれない柔軟な思考力を備えている人
- 農林業に高い関心を持ち、農林業や経営の中核となり、農林業の発展に貢献する意欲がある人
- 自然と共生し地域の人々と協働しながら、持続的な社会の発展に自らの能力を活かしていく意欲がある人

## ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与方針）

- 1 専門分野のみにとらわれない幅広い知識やコミュニケーション能力及び価値観の相違や多様性などを理解し多面的に物事を考える素養を有している。
- 2 栽培・林業・畜産の各分野において経営体の大規模化や経営の多角化に対応していくための経営管理能力や、経営の対象とする農林産物に対応した加工・流通・販売などに関する知識を有している。
- 3 農作物栽培、木材生産、家畜飼養など、栽培・林業・畜産の各分野における生産現場の状況を的確に把握するための、生産に関する知識・技術や生産に活用される先端技術に関する知識を有している。
- 4 農山村の地域社会における将来のリーダーとして、農林業の営みを通じて形成される農山村地域の環境を守り育てていくための農山村の自然環境や景観の保全、伝統・文化の継承などに関する知識を有している。
- 5 農山村の地域資源を活用することにより、栽培・林業・畜産の各分野の経営における新たな事業展開を生み出すための手法を理解している。
- 6 修得した専門知識と技術を駆使して栽培・林業・畜産の各分野の経営における課題を探索し、解決に必要な情報を収集・分析・整理するとともに、分析・整理した結果を表現できる能力を有している。

## カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施方針）

- 1 ディプロマ・ポリシーに掲げる資質・能力を修得させるため、栽培、林業、畜産の各分野の経営体において中核を担うために必要な知識や、農山村の地域社会をリーダーとして支えていくために必要な知識などを身に付けるための科目群を、講義、演習、実習等を効果的に組み合わせ編成する。
- 2 栽培、林業、畜産の各分野に対応した3コース制とし、2年次から栽培コース、林業コース、畜産コースに分かれて、自らが選択したコースの専門的な知識・技術に関する科目に加え、他のコースも適切に履修する。各分野に関連・共通する知識・技術については、2年次以降も共通で履修することとし、栽培、林業、畜産の3分野に対応したコース別の履修科目と、4年間を通じて配置する分野横断的な共通の履修科目を適切に組み合わせ教育課程を編成する。なお、教育課程の編成に当たっては学生が主体的に履修科目を選択できるよう配慮し、多様な学びを確保するよう努める。
- 3 少人数教育や実習・演習を重視した教育課程により、栽培、林業、畜産の各分野の経営における高度な実践力や、各分野に関連・共通する知識を活用して経営に新たな事業展開を生み出すことができる豊かな創造力を養成するとともに、農山村の地域社会をリーダーとして支えていくための農山村の環境、景観、伝統・文化などに関する知識を修得させる。
- 4 成績評価は、学生の基礎的・基本的な知識に加え、技能習熟度や主体的に学習に取り組む態度、問題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等の学習成果を評価基準として行う。また、学生が主体的かつ充実した学習効果を挙げることができるようGPA制度を活用する。

科目	教育課程							
	1年次		2年次		3年次		4年次	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
基礎 (20単位)	<b>■一般教養</b> (10~12単位) ★静岡学 (2) ★経済学概論 (2) ★情報処理基礎 (1) 法学概論 (2) ※ここから4単位以上		社会学概論 (2) 政治学概論 (2) 統計学 (2)		歴史学概論 (2) 文学概論 (2) (自) 情報処理応用 (1) (自) 華道 (自) 文明論		(自) 茶道 (自) 華道	
	<b>■コミュニケーション・スキル</b> (8~10単位) ★コミュニケーション論 (2) 英語I (2) 英語II (2) ★保健体育I (2)		※ここから4単位以上 英語III (2) 保健体育II (2)				(自) 英語IV	
職業専門 (85単位)	<b>■経営管理</b> (25単位) ★農林業経営学 (2) (自) 簿記基礎 ★経営管理論 (2) (自) 簿記応用 (自) フードシステム論		★経営戦略 (2) ★マーケティング論 (2) ★財務会計 (2) ★労務管理 (2)		★管理会計 (1) (自) 農林業の経営組織論 ★人材マネジメント (2) (自) 農と食の起業論 (自) 知的財産権		[栽培コース] ★経営実習I (5) ★経営実習II (5) [林業コース] ★経営実習I※ (5) ★経営実習II※ (5) [畜産コース] ★経営実習I※ (5) ★経営実習II※ (5)	
	<b>■加工・流通・販売</b> (8単位) [栽培コース・畜産コース] ▶▶▶ (自) 食品科学 (自) 農と食の健康論 [林業コース] ▶▶▶ ●木材利用・流通論 (2) [林業コース] ▶▶▶ ●木材加工実習 (2)		[共通] ▶▶▶ ★販売管理実習 (2) ★6次産業化実践論 (2) ●食品加工実習 (2) ●食品流通論 (2) (自) 収穫後生理学 ●木材加工実習 (2)					
展開 (20単位)	<b>■農山村の伝統・文化及び地域社会</b> (20単位) ★農山村田園地域公共学 (2) ★農村社会論 (2)		★農学概論 (2) ★環境と農林業 (2) 県内農林業事情 (2) 生命科学 (2) 分子生物学 (2) 野生鳥獣管理・利用論 (2) 農林業政策 (2) ※ここから4単位以上 (自) 農林業のための生物学 (自) 農林業のための物理学 (自) 農林業のための基礎数学 (自) 農林業のための地学 (自) 農林業のための化学 (自) 農林業史		農業気象学 (2) (自) 県外農林業事情		★技術者倫理 (2) (自) 海外農林業事情	
	<b>■生産理論</b> (16単位) [共通] ▶▶▶ ★農林業生産理論 (2)		●土壌肥料・植物栄養学 (2) ●森林計画・政策論 (2) ●飼料総論 (2) 上記から2単位以上を修得		[共通] ▶▶▶ (自) 植物遺伝育種学概論 (2) ●作物学 (2) ●園芸学 (2) ●植物病理学 (2) ●応用昆虫学 (2) (自) 園芸学各論		[共通] ▶▶▶ ★農林業のための先端技術 (2) ★環境保全型農林業論 (2)	
4 (総合 4単位)	<b>■生産技術</b> (26単位) [共通] ▶▶▶ ★総合実習 (2)		★GAP演習 (2) ★大型機械実習I (2)		[共通] ▶▶▶ (自) 大型機械実習II			
	[栽培コース] ▶▶▶ ●圃場実習 (栽培) (2) ●生産マネジメント実習I (栽培) (4) ●生産マネジメント実習II (栽培) (4) ★企業実習 (10)		[林業コース] ▶▶▶ ●演習林実習 (2) ●生産マネジメント実習I (林業) (4) ●生産マネジメント実習II (林業) (4) (自) 林業機械実習 ★企業実習※ (10)		[畜産コース] ▶▶▶ ●圃場実習 (畜産) (2) ●生産マネジメント実習I (畜産) (4) ●生産マネジメント実習II (畜産) (4) ★企業実習※ (10)			
<b>■農山村の伝統・文化及び地域社会</b> (20単位) ★農山村田園地域公共学 (2) ★農村社会論 (2)		★農と食の哲学 (2) ★食文化論 (2) ★医福食農連携論 (2) ★農山村デザイン演習 (2)		★農村景域論 (2) ★グリーン・ツーリズム論 (2) ★在来作物学 (2)		★コミュニケーションビジネス論 (2)		
<b>■総合的思考能力</b> (4単位)						★経営分析演習I (1) ★経営分析演習II (1) ★プロジェクト研究 (2)		

# 1 年次

## 基礎知識・技術

BASIC KNOWLEDGE / TECHNIQUE

農林業に関する基礎的な知識・技術を幅広く身につける

### POINT 学びのポイントと配置科目

#### 経営管理

農林業経営を学ぶための基礎知識を身につけます。  
●農林業経営学 ●経営管理論 ●簿記基礎・応用

#### 一般教養・コミュニケーションスキル

専門分野にとらわれない、幅広い知識やコミュニケーション能力を身につけます。  
●静岡学 ●経済学概論 ●情報処理基礎 ●コミュニケーション論 ●英語 I・II

#### 生産理論・技術

2年次からのコース選択の参考にするため、基礎的な生産理論と技術を幅広く学びます。  
●農林業生産理論 ●総合実習

#### 農林業基礎

農林業に関する基礎知識や、自然環境などに配慮した農林業を学びます。  
●農学概論 ●環境と農林業 ●県内農林業事情 ●農林業政策

#### 農山村の伝統・文化及び地域社会

農山村の歴史や文化、多面的機能の基礎について学びます。  
●農山村田園地域公共学 ●農村社会論

### MESSAGE 教員からのメッセージ

#### 多様な視点から農林業を深く学び、科学的思考の基礎を培いましょう!

本学の1年次では、農業・林業・畜産をはじめとする幅広い分野を対象に、基礎的な知識や技術を多角的に学びます。講義で得た知識を実習を通じて、栽培や環境制御などの基本技術を実践

的に身につけ、農林業に関する知識と学びをさらに深化させていきます。こうした学びを通じて、2年次以降のコース選択につながる、科学的思考の基礎と実践力を着実に育んでいきましょう。



武藤貴大 助教  
MUTOU Takahiro

担当科目/農学概論、園芸学、植物遺伝育種学概論、総合実習、圃場実習 他

**PROFILE** 花きを対象とした環境制御や育種に関する研究に従事。現在は、持続可能で高品質な花き生産を目指し、栽培技術の高度化とあわせて、気候変動に対応できる品種の開発にも取り組んでいます。

# 2 年次

## コース選択

COURSE SELECTION

栽培・林業・畜産のコースを選択し、現場で生きる専門的知識・技術を身につける

### POINT 学びのポイントと配置科目

#### 経営管理

農林業経営に必要な様々な理論や手法について学びます。  
●経営戦略 ●マーケティング論 ●財務会計 ●労務管理

#### コース共通の生産技術・知識

コースに共通して必要な生産知識・技術を身につけます。  
●GAP演習 ●大型機械実習I

#### コース別の生産技術・知識

選択したコースに応じた生産知識・技術を身につけます。  
●作物学 ●造林学 ●家畜飼養学 ●圃場・演習林実習 ●生産マネジメント実習I  
詳しくはP20~22へ▶▶▶

#### 農山村の伝統・文化及び地域社会

農山村地域の歴史や課題、日本や世界の食文化などについて学びます。  
●農と食の哲学 ●医福食農連携論 ●農山村デザイン演習

### MESSAGE 教員からのメッセージ

#### 栽培・林業・畜産のコース別専門教育がスタート! 各専門の理論と実践を深く学びます。

1年次で学習した農林業に関する基礎的な知識と技術を土台として、いよいよ希望する各コースに分かれての専門教育がスタートします。本学の特徴である、少人数に分かれての講義による理論の学習と、生産マネジメント実習などを

通じた技術の習得、さらには、3、4年次の学外での実習に備え、農山村デザイン演習により、地域の方々との交流を通じた課題解決にも取り組みます。コースに分かれた後も、経営管理に関する科目は継続して学習を深めていきます。

### SUBJECT 科目紹介

#### 【経営戦略】

経営戦略の基礎理論を学ぶとともに、戦略を立てるのに有効な分析手法を習得します。また、グループディスカッションにより具体的な戦略の策定手法を学びます。

#### 【マーケティング論】

売れる農産物の仕組みや生産者と流通業界との関係、広告手法などのマーケティングの知識を、企業の成功例や失敗例を交えながら分かりやすく学びます。

#### 【財務会計】

財務諸表の仕組みなどについて学び、企業の経営状況を知るために必要な財務データの読み方や分析手法を身に付けます。

#### 【GAP演習】

食品安全や環境保全、労働安全、農場経営管理などの規範であるGood Agricultural Practice (農業生産工程管理)について学び、その実践方法を演習を通じて習得します。

#### 【大型機械実習I】

農業機械のなかで最も基本となるトラクターの運転操作方法や点検保守管理などの基本的知識や技術を習得し、大型特殊(農耕車)免許の取得を目指します。

#### 【農山村デザイン演習】

農山村地域の方々と交流しながら地域が抱える課題を発見し、地域とともに課題解決策を考えます。



丹羽康夫 教授  
NIWA Yasuo

担当科目/分子生物学、生命科学、在来作物学、農学概論、技術者倫理、企業実習、経営実習

**PROFILE** 名古屋大学大学院にて生物学を専攻、博士(理学)。静岡県立大学より本学の開学に合わせて異動。専門は植物分子生物学。在来作物の遺伝子研究とともに、地域の伝統文化との関係も研究。清沢神楽保存会員として浅間神社での神楽にも出演。

3  
年次

# インターンシップ・実践

INTERNSHIP / PRACTICE

身につけた知識・技術を、  
希望する経営体でのインターンシップなどで実践する

## POINT 学びのポイントと配置科目

### 経営管理

経営体の具体的な管理手法を学びます。  
●管理会計 ●人材マネジメント

### 生産理論

農林業分野における先端技術と環境保全について学びます。  
●農林業のための先端技術 ●環境保全型農林業論

### 生産技術(実習・インターンシップ)

コースに応じた実習と2ヶ月間のインターンシップで、実践力を磨きます。  
●生産マネジメント実習Ⅱ ●企業実習

### 加工・流通

コースに応じた加工・流通の理論を学び、実践します。  
●食品加工実習 ●食品流通論 ●木材加工実習

### 販売管理

コースに共通して必要な6次産業化や販売管理の理論を学びます。  
●6次産業化実践論 ●販売管理実習

### 農山村の伝統・文化及び地域社会

農山村地域の資源の活かし方を学びます。  
●グリーン・ツーリズム論 ●コミュニティビジネス論

## SUBJECT 科目紹介

### 【人材マネジメント】

日本の労働市場や採用管理、教育訓練、人事評価など、人的管理の現場と課題について体系的に学び、農林業経営体に必要な人的資源管理について考えます。

### 【環境保全型農林業論】

自然循環機能を活かした環境保全型農業と、国土保全や生物多様性に配慮した森林施業について、様々な知識と技術を学びます。

### 【企業実習】

3年次までの学内での学びを活かし、優れた農林業法人で2ヶ月間の実習を行い、実践的な生産技術を学びます。

### 【6次産業化実践論】

第1次産業(農林漁業)、第2次産業(製造業)、第3次産業(サービス業等)が連携し、新たな付加価値を生み出す6次産業化の課題や可能性について考えます。

### 【販売管理実習】

価格設定・在庫管理・顧客情報分析など、マーケティング戦略の手法を理解したうえで、その戦略に沿って農林畜産物を販売する実習をおこないます。

### 【グリーン・ツーリズム論】

農山漁村とのふれあいや人々との交流を楽しむグリーン・ツーリズムについて、ヨーロッパや日本の事例を通じて学び、今後の展開について考えます。

## MESSAGE 教員からのメッセージ

### 知識や技術を実践的レベルに高めるために、実地での学びは不可欠です。

1年次、2年次には学内の小規模な圃場や演習林において、基礎的な生産理論や技術について学んでいます。しかし、実際に経済生産を行っている農業法人の生産施設や圃場は学内に比べ大規模で、学んだ知識や技術を実践レベルに上げるためには、優れた農林業

経営体において、実地に学ぶ必要があります。本科目では、農林業法人での約2ヶ月間の実習を通じて、農林業法人の持つ優れた生産技術を学び、実践的な知識や生産技術を習得することを目的としています。



杉山恵太郎 教授  
SUGIYAMA Keitaro

担当科目/農学概論、県内農林業事情、農林業生産理論、園芸学、園芸学各論、県外農林業事情、海外農林業事情、企業実習、経営実習Ⅰ・Ⅱ、経営分析演習Ⅰ・Ⅱ、プロジェクト研究

PROFILE これまで園芸作物の病害虫防除に関する研究やLED照射や光合成など生産に関する研究を行ってきました。恵まれた自然環境を活かし、露地から植物工場まで、多様な園芸作物が栽培されている静岡県の農業に貢献できる研究を行いたい。博士(農学)

4  
年次

# 経営実習・プロジェクト研究

MANAGEMENT TRAINING / GRADUATION THESIS

実際の農林業経営現場を分析し、  
自らの農林業経営のイメージをつくる

## POINT 学びのポイントと配置科目

### 経営管理

企業的な経営感覚や経営戦略を身につけるため、県内の先進的農林業経営体において経営・流通・販売等を実践を通して学びます。  
●経営実習Ⅰ・Ⅱ

### 総合的思考力

栽培・畜産・林業の各分野の経営課題を探し、解決に必要な情報を分析・整理する力を身につけます。  
●経営分析演習Ⅰ・Ⅱ ●プロジェクト研究

## SUBJECT 科目紹介

### 【経営実習Ⅰ】

先進的な農林業経営体の生産部門で1ヶ月程度の実習を行い、効率的な人員配置、適切な生産資材の利用、生産情報の収集と利用法について学びます。

### 【経営分析演習Ⅰ】

経営実習Ⅰでの体験をもとに、実習を行った経営体の生産部門を分析します。分析後は学生及び教員でグループワークを行い、課題と解決策について取りまとめます。

### 【プロジェクト研究】

本学における「卒業論文」です。教員から指導を受けながら調査計画を作り、経営実習や経営分析演習を通じて発見した課題や解決策を、卒論としてまとめます。

### 【経営実習Ⅱ】

農林業経営体の経営や加工・流通、販売などの部門で1ヶ月程度の実習を行うことで、企業的な経営感覚や経営戦略などを学び、農林業経営の実践力を身につけます。

### 【経営分析演習Ⅱ】

経営実習Ⅱでの体験をもとに、経営について分析します。実習を通じて発見した、経営体の新たな可能性や経営上の課題などについて分析し、グループワークを行ったうえで、課題と解決策について取りまとめます。

## MESSAGE 教員からのメッセージ

### 4年間の集大成として、分析力と総合的考察力を養います

入学してからの3年間に、学内および学外で身につけた知識・技術を元にして4年間の集大成を行います。「経営実習」では合計2ヶ月以上に及ぶ経営体での実習の中で経営分析を行い、将来に向けた課題解決の提案を行います。

「プロジェクト研究」は他大学の「卒業論文」に相当します。実際の農業現場に直結した課題に取り組みながら、データを取り科学論文としてまとめることで、理論と実践が融合した総合的考察力を養います。



外側正之 教授、博士(農学)、樹木医  
TOGAWA Masayuki

担当科目/「植物病理学」「環境と農林業」他

PROFILE 静岡大学農学部卒業。同大学院を中退後、静岡県庁に入庁。静岡県農林技術研究所および静岡県病害虫防除所を経て、2020年4月より本学に勤務。作物病害の中で、主に「糸状菌」「細菌」による病害を研究。

## 共通科目

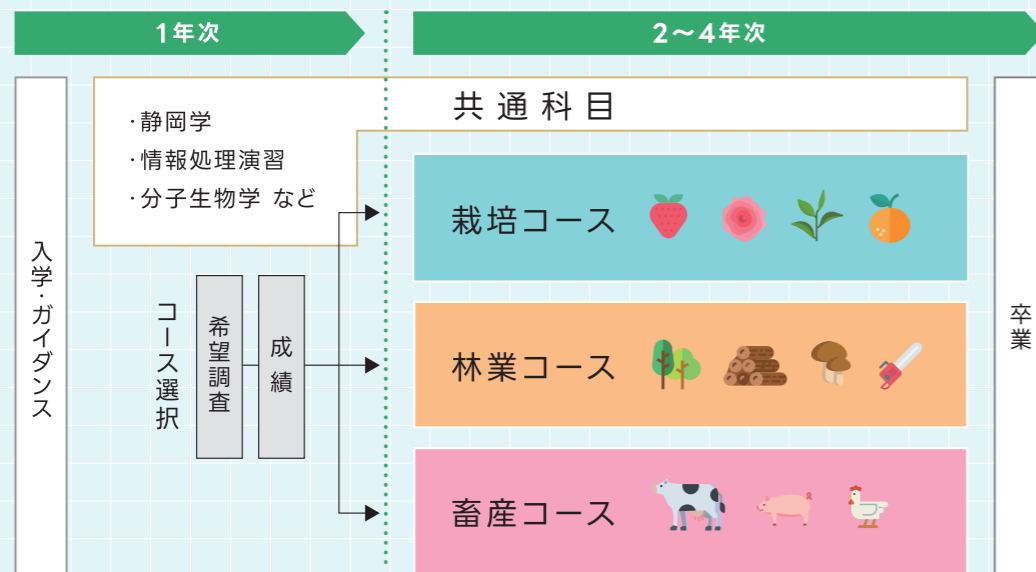
COMMON SUBJECTS

経営管理、加工・流通・販売、環境保全型農業や、農林業分野に導入されている先端技術などを共通科目として学ぶことで、農林業経営に役立つ幅広い知識を身につけます。

### コース選択について

- 2年次から栽培、林業、畜産の各分野の専門科目をコース別に履修します。
- 履修するコースは、本人の希望や成績などを総合的に判断して決定します。
- 2年次以降も分野を横断する科目については共通科目として学びます。

2年次から[栽培・林業・畜産]のコースに分かれ専門科目を履修します。



## 栽培コース

CULTIVATION COURSE

野菜、花き、茶、果樹のそれぞれの分野で、経営を牽引していくことができる専門的な知識や技術を身につけます。



### SUBJECT

#### 【経営管理科目】

- ▶人材マネジメント
- ▶管理会計

#### 【加工・流通・販売科目】

- ▶販売管理実習
- ▶6次産業化実践論

#### 【生産技術】

- ▶GAP演習
- ▶大型機械実習I
- ▶大型機械実習II

#### 【農山村の伝統・文化】

- ▶食文化論
- ▶在来作物学

#### 【生産理論】

- ▶農林業のための先端技術
- ▶技術者倫理
- ▶環境保全型農林業論



### MESSAGE 教員からのメッセージ

「経営者の時代」と言われて久しく、各地の現場では経営発展を成し遂げている企業的な経営に出会うことができます。これら経営発展には、経営者能力のみならず、従業員も経営改善を担い、組織としての能力を高めています。現在の経営では、経営者や専門の管理職の役割が重要となっており、生産技術のみならず幅広い知識を身につけることが必要となっています。



金岡正樹 教授  
KANAOKA Masaki

担当科目/農林業経営学、経営戦略、経営組織論、農林業政策

**PROFILE** これまで国立研究開発法人に勤務し、農家の企業的发展に関する経営研究に携わってきました。現場で皆と考え、現場に役立つ研究成果を創出したいと取り組んできました。学生と一緒に現場で考えたいと思っています。

### SUBJECT

#### 【栽培コース生産理論科目】

- ▶作物学
- ▶園芸学
- ▶園芸学各論
- ▶植物病理学
- ▶応用昆虫学
- ▶土壌肥料・植物栄養学
- ▶植物遺伝育種学概論

野菜、花き、茶、果樹の栽培に必要な生産理論を座学で幅広く学習するとともに、圃場において実習を行い、栽培の実践力を養います。トラクターなどの大型機械やドローンの実習、企業経営を行っている農業経営体における長期企業実習も行います。



#### 【栽培コース生産技術科目】

- ▶圃場実習(栽培)
- ▶生産マネジメント実習Ⅰ(栽培)
- ▶生産マネジメント実習Ⅱ(栽培)
- ▶企業実習

### MESSAGE 教員からのメッセージ

栽培コースでは農作物の品質や生産性を高めるための知識や技術に加え、コストや収益などの経営的な視点を学びます。農作物には多くの害虫が発生し被害を与えることから、安心・安全で高品質な農作物を安定的に生産するためには、様々な防除技術を組み合わせることで害虫の密度を効率的に管理する必要があります。私の担当する応用昆虫学で害虫防除の理論と実践を学び、害虫との上手な付き合い方を一緒に考えましょう。



金子修治 教授  
KANEKO Shuji

担当科目/応用昆虫学、農学概論、県内農林業事情、総合実習(茶)、圃場実習(茶)、生産マネジメント実習Ⅰ・Ⅱ(茶)、植物保護、プロジェクト研究、経営実習Ⅰ、経営実習Ⅱ、経営分析演習Ⅰ、経営分析演習Ⅱ

**PROFILE** 約30年にわたり、カンキツ、茶、野菜、花木など様々な農作物で、害虫や天敵の生態解明、害虫防除技術の開発、IPM体系の確立などに従事してきました。特に、天敵など生物種間の相互関係に注目した研究を進めています。

# 林業コース

FORESTRY COURSE

造林学や森林計画などの森林施業技術や木材加工など、林業経営を牽引していくことができる専門的な知識や技術を身につけます。



## SUBJECT

### 【林業コース生産理論科目】

- ▶ 森林計画・政策論
- ▶ 造林学
- ▶ 森林土壌学
- ▶ 木質科学概論
- ▶ 木材生産システム

### 【林業コース加工・流通・販売科目】

- ▶ 木材利用・流通論
- ▶ 木材加工実習

森林計画や造林など、林業生産分野における基礎的知識を座学で身に付けるとともに、県有林などで実習を行い、森林管理の実践力を養います。チェーンソー、バックホー、ドローンなどの林業機械等の実習、また林業経営体における長期企業実習も行います。

### 【林業コース生産技術科目】

- ▶ 演習林実習
- ▶ 生産マネジメント実習I(林業)
- ▶ 生産マネジメント実習II(林業)
- ▶ 林業機械実習
- ▶ 企業実習



## MESSAGE

林業コースでは、森林と木材について幅広く学びながら、林業と木材産業の経営に係る知識や技術を養います。林業や木材産業は、CO2固定の観点から地球温暖化防止に貢献している森林を基とする経済活動です。この経済活動を学ぶことで、地域環境、循環利用、市場動向などの幅広い視野も身に付きます。身についた視野は、学生の可能性を大きく広げてくれるでしょう。



**藤本清彦** 教授  
FUJIMOTO Kiyohiko  
担当科目/木材加工実習、木材利用・流通論、木材生産システム、林業機械実習、生産マネジメント実習II(林業)

**PROFILE** 大学卒業後、森林総合研究所を経て本学へ。人と環境に優しい木材加工をモットーに、効率的な木材加工や木材加工工場の作業環境に関する研究等に従事。木材需要を喚起して日本の森林を元気にしたい。博士(農学)。技術士(森林部門)。

# 畜産コース

LIVESTOCK COURSE

酪農・肉牛などの大家畜分野や、養豚・養鶏などの中小家畜分野で、畜産経営を牽引していくことができる専門的な知識や技術を身につけます。



## SUBJECT

### 【畜産コース生産理論科目】

- ▶ 飼料総論
- ▶ 家畜飼養学
- ▶ 家畜生理解剖学
- ▶ 家畜育種繁殖学
- ▶ 家畜衛生学
- ▶ 人工授精論
- ▶ 畜産法規

家畜飼料や育種繁殖など、畜産の生産現場で必須となる基礎的知識を座学で学ぶとともに、大型家畜、中小家畜の校外研修や実習を通して畜産経営の実践力を養います。トラクターなどの大型機械の実習、企業的经营を行っている畜産経営体における長期企業実習も行います。

### 【畜産コース生産技術科目】

- ▶ 圃場実習(畜産)
- ▶ 生産マネジメント実習I(畜産)
- ▶ 生産マネジメント実習II(畜産)
- ▶ 企業実習



## MESSAGE

畜産コースでは、座学で家畜の専門知識を学び、学外の実習で牛・豚・鶏の現場や企業体において飼養管理や経営等について学ぶことで、理論と実践とを結びつけることができると考えます。大学内では牛と鶏の飼育を行っており、少頭羽での飼育のため個体ごとの性格等がよく観察できます。観察力の向上は、家畜の健康な飼育や生産性の向上に直結しますので、とても大切な力だと思っています。



**鈴木雅大** 講師  
SUZUKI Masahiro  
担当科目/飼料総論、家畜飼養学、農学概論、県内農林事情、農林業のための化学、農林業生産理論、圃場実習(畜産)、生産マネジメント実習I、企業実習、経営実習I-II、経営分析演習I-II、プロジェクト研究、圃場実習I(畜産)

**PROFILE** 平成24年に鹿児島大学農学部獣医学科を卒業後、愛知県職員として家畜防疫、種豚の生産・供給、豚の飼料、飼養、栄養および肉質に関する研究などに関わってきました。博士(生物資源科学)、獣医師です。

# 短期大学部 生産科学科

Junior College of Agriculture

2年制  
定員100人

新しいシステム導入が進む農林業生産  
実務能力が高く、頼れる生産のプロを養成

これからの農林業の現場で求められるのは、  
確かな生産技術や知識はもちろん、  
農林業を取り巻く状況変化に  
対応できる能力を備えていること。  
本学科では、新時代の農林業の現場を中心となって  
支えていく人材を養成します。



農林業生産の

プロフェッショナルを養成

農林環境専門職大学短期大学部 生産科学科  
農林環境専門職大学 生産環境経営学部 生産環境経営学科

### 目標とする進路

- ⇒ 確かな生産技術・知識を持った農林業の後継者
- ⇒ 農林業経営体生産現場のリーダー
- ⇒ 農林業関連企業（食品・種苗等）への就職 等

POINT

1

### 農林生産のプロとして 高い現場力を持つ 人材を育成

- 生産物の品質向上や生産性向上を図るための専門的な知識・技術に加え、ICTなどの先端技術を生産現場へ導入する能力を身につけます。
- 学内での豊富な実習・演習や農林業経営体等での長期の臨地実務実習（インターンシップ）などを通じて、農林業生産の実践力を養います。

POINT

2

### 高い付加価値につながる 創造力も養います

- 生産物の加工・流通・販売や農山村の地域資源などに関する知識を活用し、生産物の付加価値向上を図ることができる創造力を養います。

POINT

3

### より専門的に学べる 1年次後半からの コース選択制

- 1年次後半から「栽培コース」、「林業コース」、「畜産コース」に分かれて、各分野の専門的な知識・技術に関する科目を履修します。（各分野に関連・共通する科目については、1年次後半以降も共通で履修します。）
- 栽培作目や畜種に応じた専門的な技術を身につけるため、栽培コースでは「野菜」、「花き」、「茶」、「果樹」に、畜産コースでは「大家畜」と「中小家畜」に分かれて実習を行います。



PROFILE

1963年東京都練馬区生まれ。東京農工大学連合大学院農学研究科博士課程修了、博士(農学)。一般社団法人JIC総研(現・日本協同組合連携機構)主任研究員、一般社団法人全国農業会議所専門員、京都大学大学院農学研究科特定准教授等を経て現職。研究テーマは、新規参入等農業における人材確保・育成、有機農業経営、有機食品流通等で、共著として『農業の新人革命』(2012年、農山漁村文化協会)、編著として『地域を支える「農企業」』(2020年、昭和堂)等がある。本学では、農業経営や情報処理演習等の授業を担当して、短大の目的である生産のプロフェッショナル育成をアシストしている。



生産のプロフェッショナル、それは環境に適応して変化していける人!

静岡県立農林環境専門職大学 短期大学部 生産科学科 学科長

横田茂永 YOKOTA Shigenaga

**生** 産のプロフェッショナルという、勤勉に日々の作業をこなし、熟練によってスピードや正確性をあげていくことと考えられがちです。もちろんそれも間違いではありません。実際にやってみないと身につかないこと、わからないことがたくさんあります。だからこそ、本学では実習に多くの時間を割いているのです。

しかし、社会環境も自然環境も日々変化し、また変わらないとしても従来のやり方がベストであったかどうかはわからないのが現実です。すなわち従来のやり方を踏襲するだけではなく、作業の改善をし、変化していくことが求められるのです。そのためには、生産現場の環境に適応しながらも、生産現場からは少し距離を置いた

新しい発想が必要になってきます。そこに大学で学んできた人材の活躍の余地があります。大学で学んだことは、現場では使えないという意見もよく聞きます。確かに学んだ知識が、それぞれの生産現場の環境にそぐわないということもあるでしょう。しかし、それだけではなく、生産現場の環境に適応させる能力が欠けていることも多いのです。大学で知識だけを詰め込んだ人は、このような落とし穴にはまってしまいます。知識とともに知恵(思考力)を養っておくことが重要です。知識と知恵を培って、環境に適応して変化していける人、それが生産のプロフェッショナルです。本学では、生産のプロフェッショナルを志す人たちの入学をお待ちしています。



在学生

生産科学科 畜産コース(大家畜)2年

鈴木菜々美さん 静岡県立田方農業高等学校出身

**私** にとって酪農業というのは天職なんです。酪農を志したのは高校での乳牛との出会いでした。「撫でてよ〜」そんな仕草を見せる牛たちに笑みが溢れる日々です。乳牛は生産動物として一生を人々の生活を支える存在です。そんな彼女らの一生を幸せなものにしたいという思いで、日々の管理、飼料、繁殖の幅広い範囲の勉学に励んでいます。また私が力を入れていることとして共進会があります。乳牛の改良を競うこの大会。大会の前から農家さんの指導の元、担当牛の管理や練習を行います。手をかければかけるほど応えてくれる相棒の愛おしさが更に私を牛好きにさせます。卒業後は地元の丹那地域の酪農を支える人材になり、お世話になった方々に恩返ししたいと思います。

牛たちは十頭十色。  
表情や仕草一つ一つが愛おしい  
君たちと過ごす日々が私の幸せです。

実習は技術を学ぶだけではない。  
将来働くうえで必要な安全意識や  
リーダーシップを身につけられる。

在学生

生産科学科 林業コース2年

山形優吾さん 静岡県立静岡農業高等学校出身

**林** 業に興味を持つようになったのは、幼い頃から自然が好きだったことと、高校で樹木について学んだことがきっかけでした。実践的な技術を身につけたいと考え、演習・実習の多い短期大学部への進学を決めました。林業コースでは、森林での施業から木材の加工、流通まで幅広く学んでいます。特に私は、チェーンソーによる樹木の伐採の演習に力を入れています。先生方の手厚い指導の下、チェーンソーの安全な扱い方や、正しい作業手順について学び、日々練習に励んでいます。実習では、仲間たちと協力しなければならない場面も多く、それぞれが積極的に行動する意識をもつことで、リーダーシップを養うことができます。卒業後は、県内の林業事業体に就職し、現場におけるリーダーを目指していきたいと考えています。



# 生産科学科

## アドミッション・ポリシー (入学者受入方針)

- 次のような資質を有する学生を求めます。
- 農林業生産技術を学ぶ上で必要な基礎学力と知識を身に付けている人
- 課題解決や新たな価値の創造に取り組むために、従来の常識にとらわれない柔軟な思考力を備えている人
- 農林業に高い関心を持ち、生産現場の技術者や指導者になろうとする意欲がある人
- 身に付けた技術や知識で農林業の発展に貢献する意欲がある人

## ディプロマ・ポリシー (卒業認定・学位授与方針)

- 1 社会人に求められる知識を有するとともに、社会において他者と円滑にコミュニケーションをとることができる素養を有している。
- 2 農作物栽培、木材生産、家畜飼養など、栽培、林業、畜産の各分野における生産現場の生産性向上を図るための、生産に関する知識・技術や生産に活用される先端技術を生産現場へ導入する能力を有している。
- 3 農山村の地域社会を支える生産者として、農林業の営みを通じて形成される農山村地域の環境を守り育てていくための農山村の自然環境や景観の保全、伝統・文化の継承などに関する基礎的な知識を有している。
- 4 農山村の地域資源や生産する農林産物に対応した加工・流通・販売などに関する知識を活用し、栽培、林業、畜産の各分野において生産物の付加価値向上を図るための手法を理解している。
- 5 修得した専門知識と技術を駆使して栽培、林業、畜産の各分野の生産現場における課題を探索し、解決に必要な情報を収集・整理する手法を理解している。

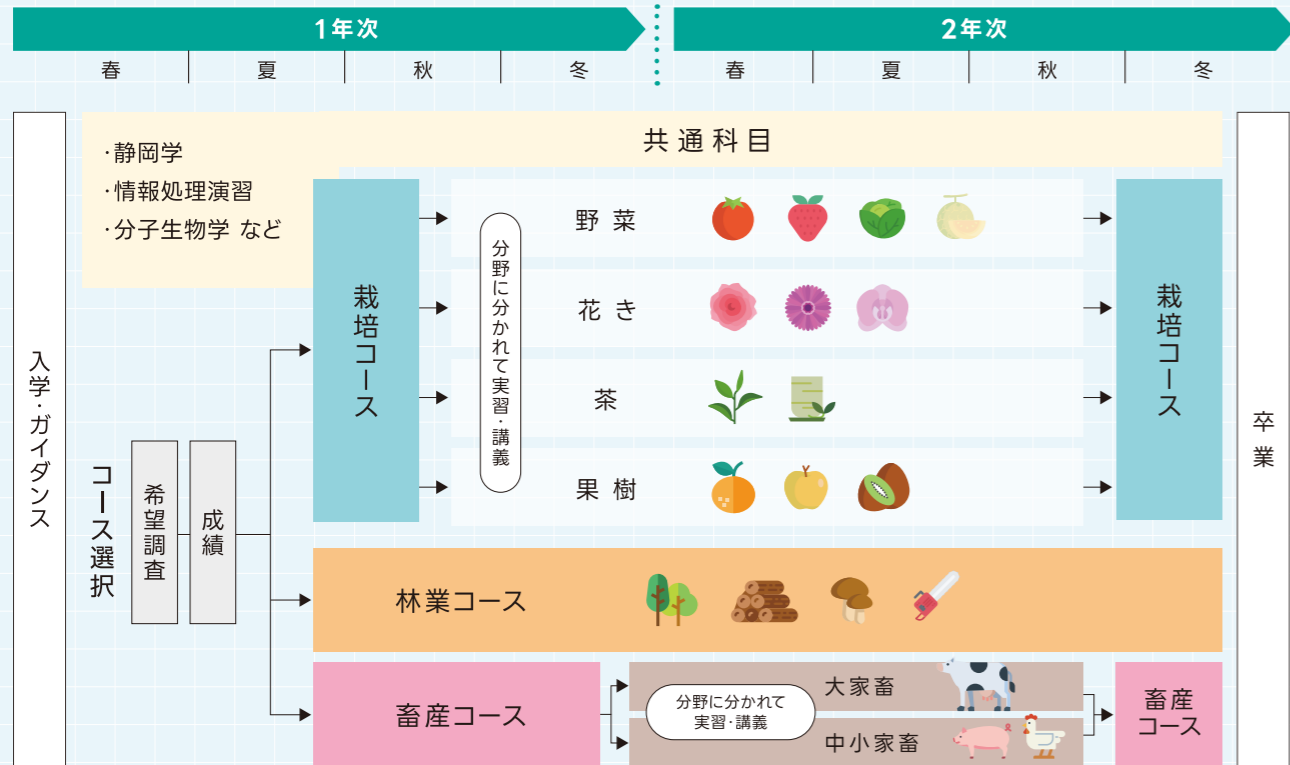
## カリキュラム・ポリシー (教育課程編成・実施方針)

- 1 ディプロマ・ポリシーに掲げる資質・能力を修得させるため、栽培、林業、畜産の各分野の生産現場においてリーダーとなるために必要な知識や、農山村の地域社会を生産者として支えていくために必要な知識などを身に付けるための科目群を、講義、演習、実習等を効果的に組み合わせ編成する。
- 2 栽培、林業、畜産の各分野に対応した3コース制とし、1年次後半から栽培コース、林業コース、畜産コースに分かれて、自らが選択したコースの専門的な知識・技術に関する科目を履修する。各分野に関連・共通する知識・技術については、1年次後半以降も共通で履修することとし、栽培、林業、畜産の3分野に対応したコース別の履修科目と、2年間を通じて配置する分野横断的な共通の履修科目を適切に組み合わせ教育課程を編成する。なお、教育課程の編成に当たっては学生が主体的に履修科目を選択できるよう配慮し、多様な学びを確保するよう努める。
- 3 少人数教育や実習・演習を重視した教育課程により、栽培、林業、畜産の各分野の生産における実践力や、各分野に関連・共通する知識を活用して生産物の付加価値向上を図ることができる創造力を養成するとともに、農山村の地域社会を生産者として支えていくための農山村の環境、景観、伝統・文化などに関する基礎的な知識を修得させる。
- 4 成績評価は、学生の基礎的・基本的な知識に加え、技能習熟度や主体的に学習に取り組む態度、問題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等の学習成果を評価基準として行う。また、学生が主体的かつ充実した学習効果を挙げることができるようGPA制度を活用する。

科目	教育課程																						
	1年次 春期			1年次 夏期			1年次 秋期			1年次 冬期			2年次 春期			2年次 夏期			2年次 秋期			2年次 冬期	
基礎 (10単位)	<b>■ 一般教養 (10単位)</b> ★静岡学Ⅰ(1)      ★静岡学Ⅱ(1) ★情報処理演習Ⅰ(1)      ★情報処理演習Ⅱ(1) ★分子生物学(2)      ○英語基礎(1)      ○英語応用(1) ★コミュニケーション論(1)      ★保健体育Ⅰ(1)      ★保健体育Ⅱ(1) ※ここから1単位以上      (自)簿記基礎      (自)簿記応用																						
	<b>■ 農林業基礎 (7単位)</b> ★農学概論(2)      ★農林業のための科学(1) 農林業史(2)      県内農林業事情(2)      営農と農業関連法(2) 農林業政策(2)      野生鳥獣管理・利用論(2)      (自)県外農林業事情 ※ここから4単位以上																						
	<b>■ 生産理論 (14単位)</b> [共通] ▶▶▶ ○植物生理生態学(2)      ●土壌肥料・植物栄養学(2)      野菜栽培(2)      ※ここから2単位以上 ○森林生態学(2)      ●植物保護(2)      花き栽培(2) ○畜産概論(2)      作物栽培(2)      茶栽培(2) ※ここから2単位以上      植物遺伝育種学概論(2)      果樹栽培(2)																						
	<b>■ 生産技術 (25単位)</b> [共通] ▶▶▶ ★総合実習(2)      ※野菜①と野菜②に分かれる。      [野菜①] ●圃場実習Ⅱ(野菜)(6)      ★企業実習(10) [栽培コース 野菜] ▶▶▶ ●圃場実習Ⅰ(野菜)(4)      [野菜②] ★大型機械実習(2)      ★GAP演習(1)      ★大型機械実習(2) [栽培コース 花き] ▶▶▶ ●圃場実習Ⅰ(花き)(4)      ●圃場実習Ⅱ(花き)(6)      ★GAP演習※(1)      ★大型機械実習※(2) [栽培コース 茶] ▶▶▶ ●圃場実習Ⅰ(茶)(4)      ●圃場実習Ⅱ(茶)(6)      ★企業実習※(10)      ★GAP演習※(1) [栽培コース 果樹] ▶▶▶ ●圃場実習Ⅰ(果樹)(4)      ●圃場実習Ⅱ(果樹)(6)      ★大型機械実習Ⅰ(2)      ★企業実習※(10) [林業コース] ▶▶▶ ●演習林実習Ⅰ(4)      ●演習林実習Ⅱ(6)      ★GAP演習※(1)      ★大型機械実習※(2) [畜産コース] ▶▶▶ ●圃場実習Ⅰ(畜産)(4)      圃場実習Ⅱ(大家畜)(6)      ★企業実習※(10)      ★GAP演習※(1) 圃場実習Ⅱ(中小家畜)(6)      ※いずれか      (自)大型機械実習※(2)      (自)大型機械実習※(2)																						
	<b>■ 農山村の伝統・文化及び地域社会 (2単位)</b> ★農山村田園地域公共学(2)      ★農山村田園地域公共学(2)																						
	<b>■ 加工・流通・販売等 (8単位)</b> [共通] ▶▶▶ ○食品加工演習Ⅰ(1)      ○食品加工演習Ⅱ(1)      ※いずれか1回      (自)実践マーケティング      ○農と食の健康論(2) [栽培コース] ▶▶▶ 食品科学(2)      アグリフードシステム論(2)      ●農業経営(2)      ★マーケティング・販売演習※(2)      ★マーケティング・販売演習※(2)      ★マーケティング・販売演習※(2) ●流通加工論      アグリフードシステム論※(2)      ●流通加工論※      ●流通加工論※(2) [林業コース] ▶▶▶ ○食品科学(2)      ●木材加工演習(2)      ●林業経営(2)      ★マーケティング・販売演習※(2)      ●木材利用・流通論(2)      ※いずれか1回 [畜産コース] ▶▶▶ 食品科学※(2)      ●畜産経営(2)      ★マーケティング・販売演習※(2)      (自)畜産経営演習(中小家畜)      ●流通加工論※(2) アグリフードシステム論※(2)																						
	<b>■ プロジェクト研究 (2単位)</b> ★プロジェクト研究(2)																						
	展開 (10単位)	(自)簿記基礎      (自)簿記応用      (自)海外農林業事情      (自)人工授精論      ●畜産環境・堆肥利用論(2)																					
		(自)実践マーケティング      ○農と食の健康論(2)      (自)大型機械実習※(2)      (自)大型機械実習※(2)																					
	② 総合 (2単位)	<b>■ プロジェクト研究 (2単位)</b> ★プロジェクト研究(2)																					

### コース選択について

- 1年次前半(夏期)までは分野横断的な科目を、1年次後半(秋期)からは栽培・林業・畜産の3コースに分かれて、各分野の専門知識・技術を修得します。
- 履修するコースは、本人の希望や成績などを総合的に判断して決定します。
- 栽培コースは1年次後半(秋期)から「野菜」「花き」「茶」「果樹」に、畜産コースは2年次から「大家畜」「中小家畜」に分かれて実習・講義を行います。
- 1年次後半以降も、分野を横断する科目については共通科目として学びます。



### SUBJECT

#### 共通科目

## 1年次

- ▶ 農学概論
- ▶ 農林業のための科学
- ▶ 情報処理演習
- ▶ 分子生物学
- ▶ コミュニケーション論
- ▶ 農林業史
- ▶ 農林業政策
- ▶ 県内農林業事情
- ▶ 営農と農業関連法
- ▶ 野生鳥獣管理・利用論
- ▶ 食品加工演習(栽培・畜産コース)

## 2年次

- ▶ マーケティング・販売演習
- ▶ 大型機械実習
- ▶ GAP演習
- ▶ 農山村田園地域公共学

#### MESSAGE



**吉村 親** 准教授  
YOSHIMURA Chikashi  
担当科目/農学概論、農山村田園地域公共学 他

**PROFILE** 食農教育、グリーン・ツーリズム、地域づくり、新規就農など農村地域をフィールドにした教育や研究に取り組んでいます。また、農業・農村が抱える課題に向き合うため、日頃から現場に足を運ぶように心掛けています。

#### 農林業が営まれている農村地域の理解を深めましょう。

農村地域の理解は、生産だけではなく生活の視点も必要です。農山村田園地域公共学では、都市と農村の関係、農山村の歴史や文化、農業・農村の多面的機能とその保全、地域資源の活用などを学びます。この過程で、本科目が

他の科目と関連していることにも気づきます。本科目や本学での様々な学びを通じて、これからの農林業や農村地域のあり方について探求していきましょう。

### 生産科学科

## 栽培コース [野菜]

CULTIVATION COURSE: VEGETABLES

静岡県で生産される野菜(トマトやイチゴ、メロン、レタス、ネギ等)の生理・生態、栽培技術、加工流通などを学びます。



### SUBJECT

## 1年次

- 後半
- ▶ 土壌肥料・植物栄養学
- ▶ 野菜栽培
- ▶ 植物保護
- ▶ 農業経営
- ▶ 圃場実習I(野菜)

## 2年次

- 前半
- ▶ GAP演習
- ▶ マーケティング・販売演習
- ▶ 圃場実習II(野菜)
- ▶ 大型機械実習

## 後半

- ▶ 企業実習
- ▶ 流通加工論
- ▶ 先端栽培技術
- ▶ 環境保全型農業論
- ▶ プロジェクト研究

#### POINT

2年次の企業実習では先進的な野菜の農業法人等で2か月間の実習を行い、実践技術を学びます。

#### MESSAGE



**中村孝二** 講師  
NAKAMURA Kouji  
担当科目/圃場実習I(野菜)、圃場実習II(野菜)、総合実習、企業実習、生産マネジメント実習I(栽培)、生産マネジメントII(栽培)、農林業のための科学

**PROFILE** 実家が酪農業をしていたことから自然に農業の発展に貢献したいと思い、公立高校の農業教員に。さらに、大学院で博士号(環境共生学)を取得し現職に。研究は、農業教育を生かした高校の地域連携学習の検討など。

#### 「本気の野菜づくりを経験しよう!」みなさんの情熱と行動で野菜を育て、可能性を広げよう

野菜では、静岡県の主要野菜であるメロン・イチゴ・トマト・露地野菜を教材とした専攻学習で、専門的な講義と豊富な圃場実習を通じて、野菜生産に関する知識や技術を修得していきます。さらに、企業実習を通して地域特性を生

かした経営戦略や現場力を身に付けるとともに、プロジェクト研究では、農業の発展性や課題の抽出、解決力や客観的な評価力を学びます。こうした本気の実践教育がみなさんの可能性を広げ、夢を具現化に導きます。

# 栽培コース [花き]

CULTIVATION COURSE: FLOWERS

静岡県内の主要品目である花き（バラ、ガーベラ、鉢物等）の生理・生態、栽培技術、販売や出荷調製方法などを学びます。



SUBJECT

- 1 年次**
- ▶ 後半
  - ▶ 土壌肥料・植物栄養学
  - ▶ 花き栽培
  - ▶ 植物保護
  - ▶ 農業経営
  - ▶ 圃場実習Ⅰ(花き)

- 2 年次**
- ▶ 前半
  - ▶ GAP演習
  - ▶ マーケティング・販売演習
  - ▶ 圃場実習Ⅱ(花き)
  - ▶ 大型機械実習

- ▶ 後半
- ▶ 流通加工論
- ▶ 先端栽培技術
- ▶ 企業実習
- ▶ 環境保全型農業論
- ▶ プロジェクト研究

**POINT** 2年次の企業実習では先進的な花きの農業法人等で2か月間の実習を行い、実践技術を学びます。

MESSAGE  
教員からのメッセージ



**外岡 慎** 准教授  
TONOOKA Makoto  
担当科目/花き栽培、圃場実習Ⅰ・Ⅱ(花き)、総合実習 他

**PROFILE** 静岡県職員として、その大半を研究員および普及指導員として、花きの栽培技術の改善と産地の生産振興に取り組んできました。なかでも静岡県の主力品目であるガーベラの栽培技術および日持ち向上を専門としています。博士(農学)。

花き分野では、切り花類、鉢物・花壇苗を教材に、花き栽培全般を学びます。

1年次前半は総合実習で花きの繁殖や収穫など基本的な栽培技術を体験します。1年次後半からの1年間は、切り花では静岡県の主力品目であるガーベラやバラなどを、鉢物ではポインセチアなどを栽培をします。それぞれの花き

の生理生態を理解し、自らが管理することで、各品目の栽培技術や切り花を長く観賞するための管理技術などを習得しましょう。

# 栽培コース [茶]

CULTIVATION COURSE: TEA

静岡県が産出量日本一を誇る「お茶」について、摘採や防除などの栽培基礎、加工(製茶)、流通販売などについて学びます。



SUBJECT

- 1 年次**
- ▶ 後半
  - ▶ 土壌肥料・植物栄養学
  - ▶ 茶栽培
  - ▶ 植物保護
  - ▶ 農業経営
  - ▶ 圃場実習Ⅰ(茶)

- 2 年次**
- ▶ 前半
  - ▶ 企業実習
  - ▶ 圃場実習Ⅱ(茶)(通年)
  - ▶ 大型機械実習(通年)
  - ▶ 後半
  - ▶ 流通加工論
  - ▶ GAP演習
  - ▶ 先端栽培技術
  - ▶ 環境保全型農業論
  - ▶ マーケティング・販売演習
  - ▶ プロジェクト研究

**POINT** 2年次の企業実習では先進的な茶の農業法人等で2か月間の実習を行い、実践技術を学びます。

MESSAGE  
教員からのメッセージ



**鈴木利和** 教授  
SUZUKI Toshikazu  
担当科目/圃場実習Ⅰ・Ⅱ(茶) 他

**PROFILE** これまでに茶に関する各種栽培技術や機能性成分、経営、景観など多岐にわたるテーマで研究に従事してきました。未来の茶業経営の発展につながる現場技術開発と人材育成に努めたいと思います。

茶の栽培から加工までの生産技術、機能性、文化など、茶に関する実践技術および知識を全般的に学びます。

茶栽培では、茶樹の基本的な生理生態を理解した上で、さまざまな環境に対応した適切な圃場管理を行うことが重要です。また、静岡県は全国有数の茶産地であり、緑茶、紅茶、てん茶など多様な茶が生産されています。本学で

最高水準の茶の栽培・加工技術を習得するとともに、世界的な嗜好飲料である茶の文化にも触れながら幅広く知識を深めていきましょう。

# 栽培コース [果樹]

CULTIVATION COURSE: FRUIT TREE

静岡県の主要果樹であるカンキツ、ナシ、キウイフルーツなどの生理・生態、摘果、剪定、収穫、販売加工などを学びます。



## SUBJECT

1 年次

- 後半
- ▶ 土壌肥料・植物栄養学
  - ▶ 果樹栽培
  - ▶ 植物保護
  - ▶ 農業経営
  - ▶ 圃場実習I(果樹)

2 年次

- 前半
- ▶ マーケティング・販売演習
  - ▶ GAP演習
  - ▶ 圃場実習II(果樹)
  - ▶ 大型機械実習

- 後半
- ▶ 企業実習
  - ▶ 先端栽培技術
  - ▶ 環境保全型農業論
  - ▶ 流通加工論
  - ▶ プロジェクト研究

POINT

2年次に農業法人等で2ヶ月間の実習を実施。先進的な果樹栽培技術を得るとともに、GAP対応から流通加工まで、果樹生産に必要なスキルを体系的に学びます。

MESSAGE  
教員からのメッセージ



**山家一哲** 准教授  
YAMAGA Ittetsu  
担当科目/土壌肥料植物栄養学、圃場実習I・II、海外農林業事情 他

**PROFILE** これまでにフルーツの鮮度保持や圃地の環境負荷軽減に関する研究に携わる。専門は収穫後生理、生産性と教育効果を高める果樹農業について様々な角度から研究中。「人は食べたものでできている」が信条。博士(農学)。

### 「果樹栽培で未来を創る」最高に充実した大学生活を

果樹栽培は「未来を育てる」仕事です。ミカン、梨などそれぞれの樹は、剪定や実のらせ方で次年の成果が決まります。農家は何年も先を見据えて樹と向き合います。ここでは、果樹の生理や栽培、貯蔵技術を総合的に理解します。

何より、農業への情熱と新しい視点を持ち、自らの手で「未来の果実」を实らせられる人を育てたいと考えています。学びの先には、あなただけの大きな収穫が待っているはずです。

# 林業コース

FORESTRY COURSE

木材の生産や県土の環境保全など、私たちの地域に多くの恵みをもたらしている林業について、森林造成や製材、流通、しいたけ等の特用林産物の栽培などを学びます。



## SUBJECT

1 年次

- 後半
- ▶ 森林計画学
  - ▶ 造林学
  - ▶ 林業経営
  - ▶ 木材加工演習
  - ▶ 演習林実習I

2 年次

- 前半
- ▶ 木材生産システム
  - ▶ 木材利用・流通論
  - ▶ 演習林実習II
  - ▶ マーケティング・販売演習
  - ▶ 大型機械実習
  - ▶ GAP演習

- 後半
- ▶ 森林生態学
  - ▶ 企業実習
  - ▶ プロジェクト研究

POINT

2年次の企業実習では県内の森林組合や民間の林業事業者のもとで2か月間の実習を行い、実践技術を学びます。

MESSAGE  
教員からのメッセージ



**鵜飼一博** 准教授  
UGAI Kazuhiro  
担当科目/演習林実習I・II、木材生産システム、森林生態学、野生鳥獣管理・利用論

**PROFILE** 静岡県庁では、森林土木、森林林業施策、自然保護、公共土木、広報と幅広い分野に従事。本学では林業全般の技術に関する安全面の指導を行っています。研究テーマは林業労働環境と南アルプスのお花畑の保全。

### 仲間と一緒に汗を流し、チームワークやリーダーシップが身につくことを期待しています。

2年間という短い時間の中ですが、講義・演習・実習を通して、植栽から伐採まで一連の林業の作業のほか、森林調査の方法、木材加工に関する理論や技術を幅広く学びます。実習では、チェーンソーの操作、ドローンや小型建設機

械の操縦などのほか原木シイタケの栽培も行います。チームで行うことが多く、チームワークやリーダーシップも身につけていただきます。

# 畜産コース [大家畜]

LIVESTOCK COURSE : LARGE LIVESTOCK

畜産業の中でも乳牛や肉牛について、育種繁殖や家畜の生理などについて学び、飼養管理の実践、畜産経営演習により経営感覚を磨きます。



SUBJECT

- 1 年次**
- 後半
    - ▶ 飼料総論
    - ▶ 家畜飼養
    - ▶ 家畜育種繁殖
    - ▶ 家畜衛生学
    - ▶ 家畜生理解剖
  - ▶ 畜産経営
  - ▶ 圃場実習I(畜産)

- 2 年次**
- 前半
    - ▶ 企業実習
    - ▶ 圃場実習II(大家畜)
    - ▶ 大型機械実習
  - 後半
    - ▶ 畜産環境・堆肥利用論
    - ▶ マーケティング・販売演習
    - ▶ 流通加工論
    - ▶ GAP演習
    - ▶ プロジェクト研究
- POINT** 2年次の圃場実習IIでは、静岡県畜産技術研究所で先進技術に触れながら、実践技術を学びます。

MESSAGE  
教員からのメッセージ



**渡邊貴之** 教授  
WATANABE Takayuki  
担当科目/家畜育種繁殖、圃場実習II(大家畜)、人工授精論、家畜飼養、畜産経営演習 他

**PROFILE** 専門は家畜育種、繁殖(受精卵移植、体外受精等)、飼養管理。代謝プロファイルテストとよばれる血液検査を利用した手法を用いて、牛群の栄養状態と生産性との関係について研究。博士(農学)。

経験に勝る財産無し!実践の中で家畜への理解を深め、技術を磨き、理論を身につけましょう!

家畜の生産性を高めるためには、家畜を健康に飼育する必要があります。講義や実習を通じて家畜への理解が進めば、家畜を健康に飼育することができるようになります。必ず生産性は向上します。畜産コース大家畜では、牛に関わ

る技術や知識を組み合わせた一連の飼養管理技術の習得を目指します。ぜひ、畜産コースで家畜との対話を楽しんでください。

# 畜産コース [中小家畜]

LIVESTOCK COURSE : SMALL-TO-MEDIUM LIVESTOCK

畜産業の中でも養豚や養鶏について、飼養管理や家畜衛生、繁殖のほか、食品加工や経営等について学びます。



SUBJECT

- 1 年次**
- 後半
    - ▶ 飼料総論
    - ▶ 家畜飼養
    - ▶ 家畜育種繁殖
    - ▶ 家畜衛生学
    - ▶ 家畜生理解剖
  - ▶ 畜産経営
  - ▶ 圃場実習I(畜産)

- 2 年次**
- 前半
    - ▶ 企業実習
    - ▶ 圃場実習II(中小家畜)
    - ▶ 大型機械実習
  - 後半
    - ▶ 畜産環境・堆肥利用論
    - ▶ マーケティング・販売演習
    - ▶ 流通加工論
    - ▶ GAP演習
    - ▶ プロジェクト研究
- POINT** 2年次の圃場実習IIでは、静岡県中小家畜研究センターで先進技術に触れながら、実践技術を学びます。

MESSAGE  
教員からのメッセージ



**万年恵美子** 講師  
MANNEN Emiko  
担当科目/圃場実習I・II(中小家畜)、企業実習 他

**PROFILE** 岩手大学農学部獣医学科を卒業後、静岡県職員として、家畜伝染病防疫業務、乳房炎や牛白血病の調査、乳牛の飼養管理についての研究等に従事。民間動物病院での診療業務、野生イノシシの伝染病検査業務を経て、2025年4月に本学に着任。学士(獣医学)。

家畜に触れて畜種の特性を直に感じ、飼養管理を学ぶことができる場です。

中小家畜は、鳥インフルエンザや豚熱などの家畜伝染病の予防のため、直接触れる機会が少ない畜種です。中小家畜専攻では、静岡県畜産技術研究所中小家畜研究センターや先進的な経営体において、養豚・養鶏の基本的な飼

養管理を学びます。また、ふん尿処理技術や販売、加工について学び、生産現場で活かせる知識や技術を身につけることができます。畜産を実践的に学びたい方をお待ちしています!



# Campus Life

キャンパスライフ

人との交流を通じて  
新しいことにチャレンジ!  
毎日がとても充実しています

太筈 晴歌 生産環境経営学科1年

フェアトレードをきっかけに生産者側の視点に興味を持ち、この大学に入学しました。大学生活は充実していて、特に人との交流が楽しいです。先輩がとても優しく、気軽に話しかけられるので頼りになる存在です。学生寮では仲の良いクラスメイトたちと暮らしており、共同生活を通して少人数ならではの絆が生まれています。また、生産の技術を学ぶ環境が整っているため、実践を通じて知識が身につく点が魅力です。最近はサークル活動にも参加して、和太鼓など新しいことに挑戦する楽しさを味わっています。1週間があっという間に感じるほど、毎日が充実した大学生活です。

## ONE DAY SCHEDULE



起床

1限がある日はこの時間に起きています。食堂で朝食をとってやる気をUP!



午前の授業

圃場での実習です。みんなと頑張って育てた作物を収穫するのがなにより嬉しいです!



昼休み

友達と食堂で美味しいランチ。日替わりのメニューが毎日の楽しみです!



午後の授業

午後の講義ははじまりました。将来の農林業を担うつもりでしっかりと学んでいきます!



放課後

放課後は和太鼓サークルに顔を出します。学びも遊びも全力で行うのが私流です!(右上の後ろ姿が本人)



自由時間

友人が私の部屋に大集合! 夜もみんなで過ごせる寮生活はとっても楽しいですよ!

## Campus Calendar 年間行事日程



## CAMPUS GUIDE

# CAMPUS MAP

広大なフィールドと新しい環境で  
学び、楽しみ、経験する

キャンパスマップ

### 1 A棟



学びの本拠地。講義を行う普通教室の他、実験室や培養室、視聴覚室などがここに集まっています。

### 2 体育館



敷地内に体育館を完備。体育の授業やサークル活動の他、式典や行事の講堂としても利用されています。

### 3 学生寮



2022年に新設。1年次には原則として全員が寮で共同生活を行い、絆を深めていきます。



### 4 C棟 (新校舎)

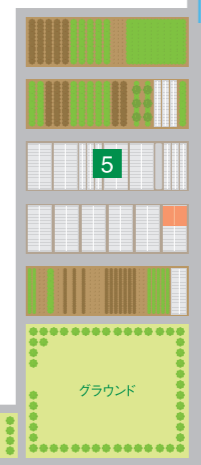
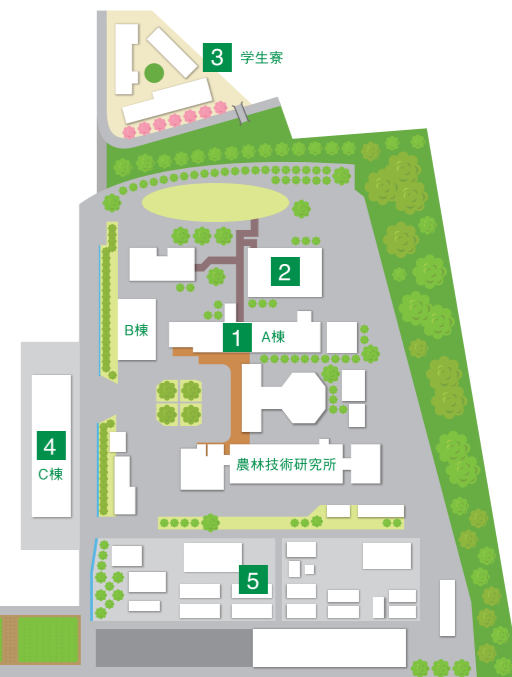


2021年に新設。食堂、図書室、講義室を備え、自習や講義など多目的に利用できる校舎です。

### 5 圃場



広大なキャンパスには果樹や野菜、花や茶まで、多種多様な圃場が広がっています。最先端の設備を駆使して生きた実践力を身につけることができます。



様々な圃場で  
のびのび学べる!



農林環境専門職大学 短期大学部 生産科学科  
農林環境専門職大学 生産環境経営学部 生産環境経営学科

## CAMPUS GUIDE

# LIBRARY

図書館

農林業関連の専門書を中心に、  
蔵書数は約2万3千冊です

(2025年3月現在)

中央のらせん階段が印象的なデザインで、広々とした閲覧スペース、学生用のパソコンやコピー機、自習室を備えています。書籍だけでなく、様々なデータベースや電子ジャーナル等も閲覧することができ、学修や研究の助けとなる施設です。



## CAMPUS GUIDE



# DINING HALL

食堂

開放的な食堂で採れたての野菜を使ったメニューが味わえる!

本学の食堂は、寮で生活している学生は朝・昼・夕の3食、それ以外の学生は昼食時に利用できます。昼食のメニューは毎日5種類! 大学で採れた新鮮な野菜を使ったメニューや、ジュピロ飯などが人気です!



## CAMPUS GUIDE

# DORMITORY

学生寮

充実した設備で快適な寮生活

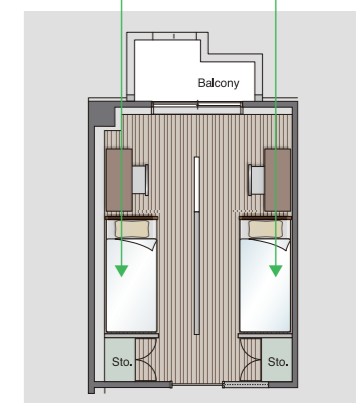
2022年4月、大学に隣接した敷地に、新しい学生寮が完成。3階建てで、中庭から寮内に光と風が取り込まれるデザインとなっています! 寮は2人部屋で、共用のラウンジ、談話室やミニキッチン、洗濯室等を備えており、最大200名が収容できます。



4年制・2年制ともに  
1年次は全員が寮生活を行い  
仲間と触れ合う共同生活を  
経験します。

1年次は  
全寮制

1年次は原則として全員が寮生活を行います。寮は原則2人部屋で、寮の規則を守り、仲間と触れ合う共同生活を体験します。自分自身で生活を組み立てる習慣を身につけることで主体性を養います。また、昼夜学生同士で生活することを通じて、農林業現場では欠かせない社会性やコミュニケーション能力を養うことができます。寮での仲間との共同生活は、学生生活の楽しい思い出となるでしょう。なお、2年次以降は、空室がある場合に、希望者を受け入れています。



学生居室の開取り図

農林環境専門職大学 生産環境経営学部 生産科学科

## CAMPUS GUIDE

# CLUB

サークル活動

2025年度は、  
運動系が8サークル  
文化系が18サークル  
生産系が3サークル  
活動しています!

スポーツや音楽を楽しむサークルから、食品加工や茶道、サポテン研究会など、本学ならではの多種多様なサークルが活動しています。



運動系

- バドミントン
- バスケット
- バレーボール
- 卓球
- 野球・ドッジ
- 山岳・アドベンチャーレース部
- フットサル
- 肉体改造部

文化系

- 合唱
- 茶道
- ボランティア
- 吹奏楽
- 養蜂
- 昆虫食
- イラスト
- 和太鼓
- 地域盛り上げ隊
- デジタルコミュニティー
- 国際コミュニティー
- 軽音楽
- ハンドクラフト
- 編み物
- 木材設計・加工・販売
- 狩猟
- 花壇

生産系

- 食品加工
- サポテン・多肉植物研究会
- 果樹

研究用測定装置から最新鋭農機まで、多彩な設備で実践的な学びを支えます。

# 設備・機器



## 1 高速液体クロマトグラフ イオンクロマトグラフ

野菜や果実の美味しさを客観的に評価する糖や酸、機能性成分、養液栽培の肥料成分などを測定し、作物の栽培方法や加工技術などを科学的に評価します。



## 3 携帯型光合成測定装置

植物育成に最も重要な光合成を、圃場など野外で測定できる装置です。環境条件や、品種による光合成速度を把握することで、最適環境条件がわかります。



## 5 高性能林業機械シミュレーター

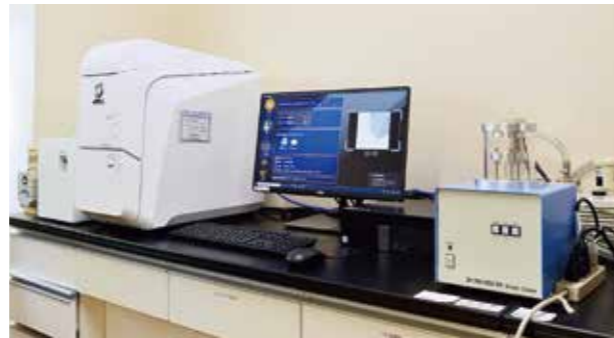
現在の林業生産現場で主流となっている高性能林業機械の操作を体感するためのシミュレーターです。機械を使用した伐採等の作業を体感することができます。



## 2 ロボットトラクター

〈JA共済連 静岡様より寄贈 2020年〉

GPSなどの衛星測位システムによる自動運転機能を備えた本県初導入となる88馬力の自動走行トラクター。付属のタブレット端末で経路を設定することで、無人でも畑を耕運することが可能です。



## 4 走査型電子顕微鏡

光より波長が短い電子線を利用して、光学顕微鏡では観察不可能な数nmという微細な構造を立体的に観察できます。SEMともいいます。



## 6 製茶工場

製茶工場では茶畑から収穫した原葉から荒茶への加工や荒茶の配合、飲用の緑茶の精製を行います。また、原葉を手で加工して荒茶にする手揉みも行います。

創設125年の歴史と輪郭

# 沿革

明治期の農事試験場から始まった農林業実践教育は、時代の変化と共に再編を繰り返しながら、本学につながる120余年の伝統を刻んできました。一貫して農林業の担い手や指導者の養成を図り、現代農林業を支える優れた人材を数多く輩出しています。

明治33年 5月 農事試験場見習生規則制定により、農事試験場の種芸・園芸・蚕業・分析・病虫の各部において農業実務者の養成教育を開始する



実習・講義の様子(昭和4年頃)

平成元年 4月 「機械研修課」を設置する。(農業試験場より移管)



上:視聴覚室での講義の様子  
下:機械を使用した実習の様子(平成5年)

昭和24年 4月 農業改良助長法制定に伴い、改良普及員養成の県立農業講習所を創設



創立50周年(昭和25年)

昭和45年 4月 県立農業中央専門研修所が発足、農業講習所に併設する。県立林業講習所を創設

昭和46年 4月 農業講習所と農業中央専門研修所を統合、農業中央専門研修所に一元化し2科制(技術科2年制・経営科1年制)とする。

昭和49年 4月 県農林漁業後継者養成機関の組織改革により、各試験場併設の後継者養成機関及び農業中央専門研修所を統合、県立農業短期大学校(総合農学科2年制、園芸・茶業・果樹・畜産・養鶏・養豚の各学科1年制)及び県立林業短期大学校に改称

昭和55年 4月 県立農業短期大学校と県立林業短期大学校を整備統合し、「県立農林短期大学校(後継者養成学科・技術者養成学科2年制)」とする。本校を静岡市北安東から磐田郡豊田町に新築移転。農業・林業各試験研究機関内に教場(園芸)、分校(茶業・果樹・畜産・養鶏・養豚・林業の各分校)を置く。

昭和59年 4月 農林短期大学校の後継者養成学科と技術者養成学科を統合して「農林学科」とし、新たに一般就農者を対象として短期の研修を行う「研修科」を設置

昭和62年 4月 養鶏・養豚試験場の統合移転に伴い、養豚分校と養鶏分校を統合し、中小家畜分校とする。

平成11年 4月 「養成部門(農林学科の継承)」「研究部門(新設2年制)」「研修部門(研修科、機械研修課の継承)」の3部で構成する農林大学校に再編

平成16年 9月 静岡産業大学との教育交流協定書を締結  
10月 オランダウエラントカレッジとの教育提携姉妹校協定書を締結

平成17年 4月 養成部門が学校教育法の専修学校専門課程となる。文部科学省告示により、養成部門修了者が専門士と称することができる課程として認められる。

平成26年 4月 研究部の2年制(総合技術専攻、専門技術専攻)をアグリビジネス学科として再編する。養成部園芸学科野菜コースに野菜一般専攻を追加し、4専攻とする。

令和2年 4月 静岡県立農林環境専門職大学及び農林環境専門職大学短期大学部に移行・開学



開学記念式典(令和3年)

令和3年 4月 新校舎(C棟)供用開始

令和4年 4月 新学生寮供用開始

令和5年 3月 インドネシア ポゴール農科大学と「大学間交流に関する覚書」を締結  
11月 開学後、初の大学祭「豊穰祭」を開催

令和6年 12月 開学5周年記念講演会開催

進路に向けた準備や企業とのマッチングをサポートします。

# 就職・キャリア支援

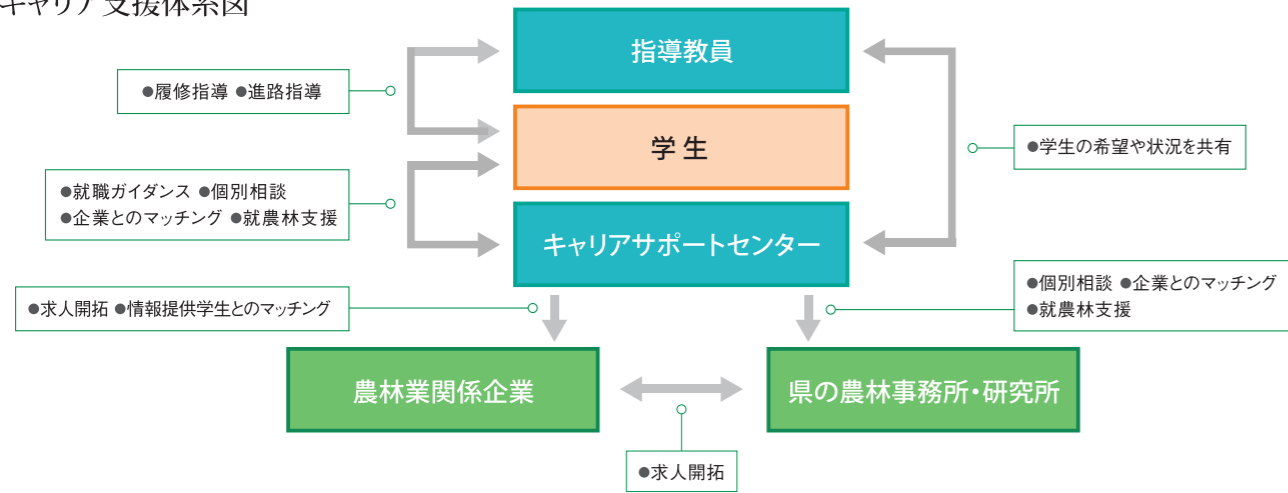
## キャリアサポート体制

学生のキャリア形成と就職活動の支援を行う「キャリアサポートセンター」を設置。専任の相談員が学生の卒業後の進路希望や履修状況などの情報を担任教員らと共有し、個々の状況に応じた助言や支援を行います。センターでは学生の個別相談に随時応じる他、就職講座の開催、模擬面接やエントリーシート添削など、具体的実践的にアドバイスを行っています。

また、企業からの就職情報を収集・発信し、学生とのマッチングを後押しします。県立の専門職大学であることから、特に静岡県の農林事務所、研究所、関係企業とのつながりも最大限活用し、企業への求人依頼や情報収集を行う積極的に学生に発信していきます。なお最新の求人情報はセンターでも閲覧できます。



### キャリア支援体系図



### インターンシップ参加を支援

農林業関係企業等のインターンシップ参加の支援を行います。これまでに本学の臨地実務実習やインターンシップ（短期）で受け入れ実績がある企業や農家等を紹介し、学生が将来の就職先についての理解を深められるよう、積極的に参加を支援します。

### 合同就職説明会を学内で実施

学内で農林業法人や関連企業を招いて合同説明会を実施します。毎年多くの企業が参加しています。説明会は学生と企業とのマッチングの場となっており、学生・企業双方から好評を得ています。

### 就職活動におけるマナー等の指導

社会人としてのマナー（身だしなみや言葉づかい、礼儀作法等）についても模擬面接等で指導するほか、履歴書やエントリーシートの添削等、指導教員とキャリアサポートセンターが連携して、幅広く学生の就職活動をサポートします。



### 家業継承や独立就農への支援

農林業関係企業などへの就職を目指す学生ばかりでなく、家業を継ぐ形での就農や、独立就農を目指す学生にも、様々なサポートを提供しています。一般的な就職活動のサポートはもちろん、就農林を目指す上で欠かせない公的支援制度に関する情報提供や、県の農林事務所・研究所などとのつながりを構築するなど、卒業後にも役立つ支援を行います。

## 「臨地実務実習」体制

〈臨地実務実習：静岡県内の農林業経営体との連携〉

4年制大学では3、4年次、短期大学では2年次に2ヶ月以上、実際の農林業現場での就業を体験する臨地実務実習に全員が参加します。実習先は、静岡県内の多くの先進的な農林業経営体の中から、学生自らが自分の進路と照らし合わせて選びます。この臨地実務実習を通じて、社会に出た後どう農林業に携わるのか、イメージを作りながら実践力を身につけます。

主な臨地実務実習先

- 生産環境経営学部（4年制）／京丸園株式会社（浜松市）、株式会社ハラダ製茶農園（島田市）、株式会社農健（磐田市）、株式会社とやま農園（浜松市）、農事組合法人ジャパン・ベリリー（藤枝市）、株式会社ふもとつばら（富士宮市）、富士森林組合（富士宮市）、有限会社片野牧場（函南町）、春野コーポレーション（浜松市）他
- 短期大学部（2年制）／株式会社鈴生（静岡市）、有限会社ヤマチヨウ（牧之原市）、株式会社 三中製茶（牧之原市）、有限会社佐東ファーム（掛川市）、株式会社鈴木農園（掛川市）、袋井高山農園株式会社（袋井市）、株式会社やさいの樹（菊川市）、株式会社高山（浜松市）、伊豆ホーリーズ株式会社（伊豆の国市）、杉山農園（静岡市）、有限会社穂高（磐田市）、清水森林組合（静岡市）、いなずさ林業（下田市）、アグリッチジャパン株式会社（掛川市）、夏目牧場株式会社（浜松市）、有限会社 アイエーエフ石塚（沼津市）、有限会社杉山養鶏場（御殿場市）他

## 授業で学び取得を目指す資格・免許

※下記以外の農林業に関する専門的な資格等についても、大学で紹介、受験の斡旋を行います。

- 大型特殊自動車運転免許（農耕限定）
- 大型特殊自動車運転免許（農耕限定解除）
- 牽引免許（農耕限定）
- 刈払機取扱作業安全衛生教育
- 日商簿記検定
- 茶手揉教師補資格（短大）
- チェーンソーによる伐木等の業務に係る安全衛生特別教育
- 測量士補資格
- 狩猟免許（わな）
- 森林施業プランナー資格（一次試験）
- 家畜人工授精師免許

## 主な進路先

※2024年度実績です。

### 大学

静岡県内			静岡県外	
<b>農業法人等</b> (株)おやさい 白糸植物園 鈴木農園 米久おいしい鶏(株)	<b>農林業団体・公務員</b> 静岡県(農業土木、林業) JA静岡市 (公社)浜松市花みどり振興財団	<b>農林業関連企業</b> (株)磯こま海苔 クミアイ化学工業(株) 三立製菓(株) (株)ビッグ富士	<b>農林業団体</b> 独立行政法人家畜改良センター <b>農林業関連企業</b> (株)アグロカネショウ (株)コーンズエージー	(株)成城石井 東京青果(株) (株)船昌 (株)みずずコーポレーション

### 短期大学部

静岡県内				静岡県外	
<b>農業法人等</b> 赤堀農園 (株)Cha-Koba 戸倉トラクター 陽だまりファーム (有)まえしば 松下園 (株)丸共掛川製茶 (有)丸新柴本製茶 磐南ファーム(株)	<b>農林業団体・公務員</b> (一社)MOA自然農法文化事業団 静岡県高等学校(実習助手) 静岡県畜産協会 JA遠州中央 JA静岡市 JAしみず JAふじ伊豆	JAみっかび 天竜森林組合 <b>農林業関連企業</b> (株)伊東造園 イナホルディングス(株) コープ浜松 (株)サカタのタネ 佐々木製茶(株) (株)サラダクラブ浜松工場 (株)静岡茶市場	静岡VF(株) (株)スカイ (株)スズキサポート 時之栖浜松フルーツパーク 豊田肥料(株) 成澤木工(株) 浜松青果(株) ひしだい製茶 (株)フジイチ (株)美咲 (株)八千代造園	<b>農林業団体</b> 独立行政法人家畜改良センター JA豊頃 <b>農林業関連企業</b> (有)飯田園芸 (株)関東甲信クボタ ゴトウ解卵場姫研究所 (株)コメリ ホクシン(株) (株)ミヨシグループ	

将来の農林業への就農や経営確立をバックアップする制度も活用できます。

# 学納金・給付金制度・奨学金

## 入学科・授業料・諸経費

		4年制	2年制
入学料	県内の者	141,000円	84,600円
	県外の者	366,600円	219,900円
授業料	年額	322,300円	234,600円

※県内の者とは次のいずれかに該当する者をいい、県外の者とはその他の者をいう。

- (1) 入学の手続きを行う日の属する月の初日において、引き続き1年以上県内に住所を有している者
- (2) 入学の手続きを行う日の属する月の初日において、配偶者又は1親等の親族が引き続き1年以上県内に住所を有している者
- (3) 知事が(1)又は(2)に掲げる者に準ずると認める者

## 入学前に納入する諸経費 (諸事情により金額は変更となる場合があります。)

		4年制	2年制
寮費(年額)		204,000円	204,000円
自治会費(年額)		15,000円	15,000円
傷害保険料(4年分または2年分)		4,660円	2,430円
火災保険料(寮の家財保険、年額)		1,510円	1,510円
合計		225,170円	222,940円

※上記の他、教科書代、作業着代、パソコン購入費、企業実習の旅費等の実費がかかります。

※寮生には学食で朝昼夕食を提供し、食費は年に4回実費を請求します。利用状況によって金額は異なりますが、年間20万円程度です。

※同窓会費(12,000円)任意での加入となります。

## 給付金制度

※卒業後1年以内の就農などの交付条件があります。

※交付要件を満たさなくなった場合、一部又は全額を返還しなければなりません。

### ～農林業への就業をバックアップする制度～

次世代を担う農業者となることを志向する者、林業に就業し将来的にその中核を担うことに意欲を有する者(短大)に対し、就農林前の研修を後押しする資金が交付されます。

<p><b>就農準備資金</b></p> <p>制度の詳細内容は 農林水産省のWebサイトを ご覧ください</p> 	<p><b>緑の青年就業準備給付金事業</b></p> <p>制度の詳細内容は 林野庁のWebサイトを ご覧ください</p> 
---	--

## 奨学金制度

本学は、授業料・入学金の減免と、返還を要しない給付型奨学金を大幅拡充する高等教育の修学支援新制度の対象校に認定されています。その他にも、独立行政法人日本学生支援機構や、社会福祉法人静岡県育英会が実施する貸与型奨学金も利用することができます。

<p><b>日本学生支援機構</b></p> <p>制度の詳細内容は Webサイトをご覧ください</p> 
--

# 募集概要

## 令和8年度(2026年度) 入学者選抜の概要 ※今後、変更が生じた場合は、本学公式Webサイトにて周知します。

**静岡県立農林環境専門職大学 生産環境経営学部 生産環境経営学科(4年制):入学定員 24人**

選抜区分	入学定員	概要
一般選抜 ※1	12人	大学入学共通テスト、個別学力検査等の組み合わせにより実施します。
学校長推薦選抜	12人 ※2	高等学校長等の推薦に基づいて実施します。
特別選抜	若干名	社会人、私費外国人留学生を対象に実施します。
編入試験	—	実施しません。

※1 「分離・分割方式」の前期日程で試験を実施します。 ※2 学校長推薦選抜の募集人員は、特別選抜(社会人、私費外国人留学生)の募集人員を含む

### 入学者選抜日程

選抜区分	出願期間	試験日	合格発表日	入学手続期間
一般選抜	令和8年 1月26日(月) ～2月4日(水)	令和8年 2月25日(水) 2月26日(木) ※3	令和8年 3月5日(木)	令和8年 3月9日(月) ～3月15日(日)
学校長推薦選抜	令和7年 11月4日(火) ～11月11日(火)	令和7年 11月22日(土)	令和7年 12月5日(金)	令和8年 1月19日(月) ～1月27日(火)
特別選抜	社会人選抜	令和7年 11月4日(火) ～11月11日(火)	令和7年 11月22日(土)	令和8年 1月19日(月) ～1月27日(火)
	私費外国人留学生選抜	令和7年 11月4日(火) ～11月11日(火)	令和7年 11月22日(土)	令和8年 1月19日(月) ～1月27日(火)

※3 受験者多数の場合のみ

**静岡県立農林環境専門職大学短期大学部 生産科学科(2年制):入学定員 100人**

選抜区分	入学定員	概要	
一般選抜	20人	個別学力検査等により実施します。大学入学共通テストは利用しません。	
推薦型選抜	指定校推薦選抜	25人	本学が指定した高等学校長からの推薦に基づいて実施します。
	学校長推薦選抜	55人 ※1	高等学校長等の推薦に基づいて実施します。
特別選抜	社会人選抜	若干名	社会人、私費外国人留学生を対象に実施します。
	私費外国人留学生選抜	若干名	

※1 学校長推薦選抜の募集人員は、特別選抜(社会人私費外国人留学生)の募集人員を含む

### 入学者選抜日程

選抜区分	出願期間	試験日	合格発表日	入学手続期間
一般選抜	令和8年 1月13日(火) ～1月22日(木)	令和8年 2月7日(土) 2月8日(日) ※2	令和8年 2月19日(木)	令和8年 2月26日(木) ～3月11日(水)
推薦型選抜	指定校推薦選抜	令和7年 11月22日(土)	令和7年 12月5日(金)	令和8年 1月19日(月) ～1月27日(火)
	学校長推薦選抜	令和7年 11月4日(火) ～11月11日(火)		
特別選抜	社会人選抜	令和7年 11月4日(火) ～11月11日(火)	令和7年 11月22日(土)	令和8年 1月19日(月) ～1月27日(火)
	私費外国人留学生選抜	令和7年 11月4日(火) ～11月11日(火)		

※2 受験者多数の場合のみ

## Webへのご案内

公式サイトでアグリフォーレの最新情報をチェック。

<https://www.shizuoka-norin-u.ac.jp/>



公式Webサイト

各学部の学びや学生生活をはじめ、入学試験や最新イベント情報、オープンキャンパスなど受験生に役立つ情報を掲載しています。本誌とあわせてぜひご覧ください。

栽培

林業

畜産

日本初の農林業分野の専門職大学

### 農林業経営のプロフェッショナルを養成

農林環境専門職大学 | 生産環境経営学部 生産環境経営学科  
4年制/入学定員24人

### 農林業生産のプロフェッショナルを養成

農林環境専門職大学短期大学部 | 生産科学科  
2年制/入学定員100人

〒438-8577 静岡県磐田市富丘678-1 [学生課] TEL.0538-31-7905 FAX.0538-34-4445  
公式Webサイト <https://shizuoka-norin-u.ac.jp> E-mail.noukandaigakusei@pref.shizuoka.lg.jp

## 公式SNSアカウント

「静岡県立農林環境専門職大学公式 X アカウント」では、大学からのお知らせやイベント情報を発信しています。



本学公式  
X アカウント  
@spua\_shizuoka



「静岡県立農林環境専門職大学公式Instagramアカウント」では、本学の学生生活の様子などを発信しています。



本学公式  
Instagramアカウント  
spua\_shizuoka



## ACCESS

### 電車・バスで来学の方

#### ■東京方面より

新幹線「JR掛川駅」下車、東海道本線に乗り換え  
東海道本線「JR磐田駅」下車

#### ■名古屋方面より

新幹線「JR浜松駅」下車、東海道本線に乗り換え  
東海道本線「JR磐田駅」下車

JR磐田駅北口のバスロータリー2番乗り場より、  
遠鉄バス「ららぽーと行き」又は「二俣 山東行き」に乗車。  
「図書館前」で下車。徒歩10分程度

### 自動車で来学の方

豊田東I.C.で降りて県道44号線を南下し、  
2つ目の信号（見付変電所）を右折、看板を左折し、  
上り坂の突き当りを左折

